1993年１月30日発行（1992～1993）

The Lions in Chiba No. 4

We Serve

特集：新春対談　沼田知事ＶＳ矢田ガバナー

地区ニュース　ライオンズクラブ国際協会　333-C地区

知性豊かに　日に日に精進

３３３－Ｃ地区ライオンズ憲章

われわれは、ライオンズクラブ草創の原点にたちかえり、その崇高な精神を信奉し、会員である誇りと自覚をもって、ライオニズム永遠の発展に寄与するため、会員の総意を結集し、ここに地区ライオンズ憲章を制定して、その理想実現に邁進するものである。

1．単位クラブの尊厳と自主性を尊重しよう。
2．奉仕の根源は愛であることを確認し、心をこめて精進しよう。
3．友情によって相互理解と強固な団結をはかろう。
4．組織の簡素合理化と経費の節減につとめよう。
5．グッドスタンディングとは、積極的参加の意欲であることを理解し、指導力の開発にはげもう。

ライオンズクラブの目的

☆世界の人びとの間に相互理解の精神をつちかい発展させる。

☆よい施政とよい公民の原則を高揚する。

☆地域社会の生活、文化、福祉および公徳心の向上に積極的関心を示す。

☆友情、親善、相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる。

☆一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし、政党、宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない。

☆奉仕の心を持つ人びとが個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するようはげまし、また、商業、工業、専門職業、公共事業および個人事業の能率化をはかり、道徳的水準をさらに高める。

ライオンズ道徳綱領

☆職業に対する不断の努力が正しく賞賛されるように心がけ、自己の職業の尊さを確信すること。

☆事業を成功させて、適正な報酬や利益は受けるべきであるが、自己の立場を不当に利用したり、人に疑われる行いをして自尊心を傷つけてまでも利益や成功を求めないこと。

☆事業を遂行するにあたっては、他人の事業を妨害しいように心がけ、顧客や取引先に誠実であり、自己にも忠実であること。

☆世人に対する自己の立場や行いに疑いが生じたときは、世人の立場に立って解決にあたること。

☆真の友情は損得の上に築かれるものではなく、心と心のふれ合いによるものであることを自覚し、手段としてではなく目的として友情をもつこと。

☆国家および地域社会に対する公民の義務を忘れず、かわらぬ忠実を言動にあらわし、すすんで時間と労力と資力をささげること。

☆不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私財を惜しまないこと。

☆批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさけること。

CONTENTS

特集：新春対談／沼田千葉県知事ＶＳ.矢田常吉地区ガバナー
21世紀へ向けて伸びゆく千葉県 …… 2

地区ガバナー・Ｌ矢田常吉
後半へ向かって …… 10

後編
ＹＥ派遣生レポート特集 …… 11

ＬＣのひろば …… 28

賀春
各リジョン情報委員のごあいさつ …… 42

・ライオンズクラブ国際協会・３３３複合地区議事録
第２回ガバナー協議会・委員長合同会議 …… 44

２回キャビネット会議／議事録 …… 45

第２回ガバナー協議会・委員長合同会議次第 …… 46
３３３－Ａ地区現状報告
３３３－Ｂ地区現状報告
３３３－Ｃ地区現状報告

ＭＪＦ名簿 …… 48
新入会員名簿 …… 49

編集後記／５２
キャビネット事務局の紹介
今月の表紙

もくじ

The Lions in Chiba

No. 4

１９９３年１月３０日発行

新春・対談

21世紀へ向けて伸びゆく千葉県

沼田武県知事

矢田常吉地区ガバナー

新年早々、沼田武千葉県知事と３３３ＩＣ地区Ｌガバナー矢田常吉との新春対談が行われた。県民として、二十一世紀へ向けて発展する千葉県の展望を理解するとともに、これからのライオンズクラブの方向、役割についてもご参考にしていただきたい。

沼田武千葉県知事

●今年は千葉県が誕生して百二十周年の年

矢田　新年おめでとうございます。ご多用のところをわざわざお時間をさいていただいて、有難うございます。われわれライオンズクラブは、県内に九七クラブ、四、五〇〇名の会員がいて、それぞれの市町村で活動をしております。

新年にあたり、「二十一世紀へ向けて伸びゆく千葉県」というようなタイトルで、いろいろお話を承りたいと思います。

知事　今年は千葉県が明治六年六月十五日に誕生してから、丁度百二十年になります。また県民に郷土意識、ふるさと意識をもってもらおうと皆さまにご協力いただいて、「県民の日」を制定してから丁度十年になります。そんなことで本年は、千葉県誕生百二十年にふさわしい年にしたいと考えているところです。これが今年、ふつうの年と違う点です。

●発展する幕張メッセ

矢田　私たちが国内はもちろん、海外に行きましても、幕張メッセ、成田空港、ディズニーランドなど、千葉県の知名度が最近はたいへん高くなったことを感じます。

知事　幕張メッセは平成元年にオープンして、昨年の十月で満三年になりました。来場者は当初の予想よりはるかに多く、二、一〇〇万人を超えました。今から思うと非常にタイミングのよい時に計画したと思っています。景気の沈滞している時に契約できて、その後、資材や建設費の値上りで業者は悲鳴をあげたようですが、県としては当時、約四五〇億円の投資だったのです。当時としては膨大な費用を投資するとも言われたのですが、今これだけの施設をつくるとすると、一、二〇〇億円ぐらいの投資が必要だといわれています。一、二〇〇億円と言われると、私も頭をひねらざるを得ませんが、まことに良い時期に出来たと思っています。

矢田　天の時、地の利、人の和を得た事業だったと言えますね。

知事　なんと言っても日本一、東洋一の施設ですから、当時としてはこのような施設をつくって千葉県として成功するか、運営がうまくいくかという危惧もあったのですが、おかげさまで開場以来予想を上回る盛況で、こちらから引きぬいたわけではありませんが、晴海のモーターショーも移ってくる結果になりましたし、世界卓球選手権大会、国民文化祭、食と緑の博覧会など、大きな催しが次から次に行われてきました。

本年暮にはＮＨＫの国際フィギュアスケート競技大会、来年三月には世界フィギュアスケート選手権大会、再来年の平成七年には世界エネルギー会議、これは世界最大規模の国際会議で、参加者は五千名以上と言われていますが、開催される予定になっています。

経済交流はもちろんですが、このように文化、スポーツの国際会議も次から次へ開催されますが、なんと言っても千葉県にある施設であり、千葉県の人がいちばん利用しやすいわけですから、こうした点でも県民に役立つ施設に成長してきていると思っています。

幕張メッセは、これだけ大きな施設でも、大規模なイベントが入ってくると面積が足りないこともありますので、さらに展示場をふやすことについて検討しています。

幕張新都心は五百二十二ヘクタールという広大な県有地で、新都心として

矢田常吉地区ガバナー

の街づくりでは日本で最大規模のものです。「みなとみらい21」とよく比較されますが、あちらは面積が百八十六ヘクタール、新宿副都心は約九十六ヘクタールと、規模が違います。

街の景観についても、専門家に集まっていただいて、デザイン会議を開き、ビル群の調和など街づくりについて意見を聞きながら、計画的に街づくりを進めています。良好な都市環境をつくるため、広幅員道路、歩行者空間、オープンスペース、共同溝、地域冷暖房、中水道等を整備し、また環境デザインマニュアルを策定し、官民一体となった新しい街づくりに取り組んでいます。昨年五月には日本都市計画学会賞をいただきました。

●DNAの拠点、かずさアカデミアパーク

矢田　木更津、君津地域には「かずさアカデミアパーク構想」が進んでいるようですが。

知事　「千葉新産業三角構想」は、ご承知のように、千葉市の幕張を中心とする「幕張新都心構想」、木更津、君津を中心とする「かずさアカデミアパーク構想」、さらに成田空港を中心とする「成田国際空港都市構想」という三つの拠点をつくるものです。これらを高速道路でつなぎ、三つの拠点でつくられる機能が一体となって、それぞれの機能をさらに発揮できるようにして、県土の均衡のとれた発展を図っていこうというのが新産業三角構想の狙いです。

「かずさアカデミアパーク構想」は、木更津・君津にかけての広大な丘陵地帯に、約千ヘクタールの水と緑のアカデミアパークを建設するものです。自然環境を大切にしながら、民間研究所の集積を図る計画です。三期三十年の計画で進めています。全体面積約千ヘクタールのうち、一期事業として二百七十八ヘクタールを平成七年度までに概成しようと考えています。すでに富士通、キャノン等六社の研究所の立地が決定しています。

幕張新都心構想でメッセを考えましたように、県としては「かずさアカデミアパーク構想」の中核的な施設として、「かずさDNA研究所」をつくることにしています。DNAは、生命科学分野で二十一世紀にかけて最先端の研究分野になると言われております。そこで、生命科学の基礎となるDNAの構造と機能の研究解析を主な研究テーマとして県主導でこの研究所の設立が決定したわけです。施設を立派にすることはもちろんですが、ここで研究活動する人材を集めることも大事なことです。

「あずさアカデミアパーク構想」に熱が入る…。

「かずさＤＮＡ研究所」の初代所長には、日本の分子生物学会会長もされたＤＮＡ研究の世界的権威でもある高浪・京都大学教授が就任することで内定しています。いま高浪先生を中心に各大学研究所の若手研究者を集める努力をしております。

一期工事が平成七年度に概成するわけですが、それより先の平成五年度末には「かずさＤＮＡ研究所」の完成を予定しています。

●半島性を脱却する道路網整備

矢田　千葉県は経済、工業の発展、国際都市として発展してきましたが、これからは科学研究分野においても、レベルの高い県となるわけですね。木更津地区には東京湾横断道路の建設も進んでいるようですが……。

知事　千葉県のこれからの姿を大きく変えるのは、平成七年度の完成をめざす東京湾横断道路だと思います。千葉県は半島県であるため、均衡のとれた県土づくりを進めるのに難しい要素がありました。横断道路ができますと、川崎と木更津の間は十五キロメートルですから、時速六十キロの安全速度で走っても十五分でつながることになります。そうすると木更津から羽田空港まで三十分で行くことができます。

また、首都圏中央連絡自動車道の県境～大栄間及び茂原～木更津間が事業化区間となりました。木更津から茂原へ延び、さらに東金を北上し成田を経て、利根川を渡ります。筑波研究学園都市を通って埼玉、東京、神奈川へとつながります。東京を中心とする一番外回りの高速道路の建設が進み始めています。

東北と関西の往来のため、東京都心にたくさんの車が入り、そのため交通混雑が激化しております。横断道路ができますと、将来は東名高速道路とも結ばれます。そして首都圏中央連絡自動車道を通ることによって、常磐自動車道、東北縦貫自動車道、さらに関越自動車道にも接続して、都内を通らずに東北と関西がつながります。そういう意味で、千葉県を通る首都圏中央連絡自動車道が、東日本と西日本を結ぶ日本の幹線道路になります。こうした幹線道路の整備を促進して、千葉県の宿命である半島性や袋小路性を解消するよう努力していきたいと考えています。

千葉県は面積が五十一万ヘクタールと、首都圏一都三県のなかでは最大の県土です。東京都の二十二万ヘクタール、神奈川も東京に次いで人口の多い県ですが、二十四万ヘクタールです。東京都と神奈川県を合わせて四十六万ヘクタール、埼玉県も三十八万ヘクタールで、おおむね本県は埼玉県の一・五倍の面積となっております。ただ、先ほど述べましたように千葉県は半島県のため、全域の高度利用が難しい環境にあります。今後、横断道路や首都圏中央連絡自動車道が完成すると、県土全域のポテンシャルが高まることとなります。これだけ首都圏で大きな県土を有していることは、千葉県がさらに発展する有力要因と言えるのではないでしょうか。

●恵まれた自然との調和を図って

矢田　ライオンズクラブは環境問題に大きな関心をもっております。地球規模的な環境問題もありますが、千葉県も経済、工業の面でこれだけ発展してくると、環境問題も当然考えなければならない問題だと思いますが、この辺のことをお聞かせ下さい。

知事　千葉県は気候温暖で、南房総は無霜地帯があり、一年中路地で菜の花が咲くすばらしい県土です。そういう残された房総半島の自然を大切にしながら、環境問題を考え、節度ある振興を図ることが大事なことだと考えています。

千葉県はさまざまな面を持ち合わせております。私たちが誇りに思っているのは、これだけ都市化が進み、工業県としても成長する一方、農業県、水産業県としても、全国的に高い位置を占めていることで、これは素晴らしいことだと私自身も考えております。

農業は平成二年の生産額が約四千八百億円であります。これは全国第三位です。北海道は千葉県の農地面積の七倍ぐらいですから別格として、茨城県

と千葉県で内地のトップ争いをしております。農業が中心産業となっている県もありますが、そういう県より千葉県の農業生産額は高く、これだけ都市化し人口が増えていながら、依然として高い水準を保っております。

水産業においても、三方を海に囲まれていることから、漁獲量は全国第八位です。さらに、水産加工品生産では全国第三位という高い地位を占めています。

千葉県はすばらしい県だということで、いろいろな方面から開発計画の話があります。たとえばゴルフ場もすでに百十を超え、造成計画中のものを入れるとその倍ぐらいになります。そういう状況ですので、特に環境問題に力点をおいて、環境との調整を第一に考えております。

平成四年度は「環境新時代スタートの年」と位置付け、環境費の予算を大幅に伸ばしました。そして、「千葉県環境会議」を設置しました。環境問題に対する県民の心構えとなる環境憲章を決めたり、大規模開発計画については環境アセスメントを行う前の、プランニング段階から専門家に議論してもらいます。このような環境会議を設置するのは全国で初めてです。

昨年六月、ブラジルで地球サミットが行われました。千葉県の環境部にも優秀な専門家がいますので、三名を派遣しました。ブラジルの地球サミットに参画した国際的な学者を千葉に招いて、幕張メッセで「千葉国際環境フォーラム」を開催して、県民の方々に参加していただきました。

環境問題のひとつとして、平成二年四月一日以降のゴルフ場の開発には、農薬の使用を認めないという措置を、全国に先駆けて行いました。既設のゴルフ場についても、農薬を減らす努力をしていただいて、最終的には千葉県の全ゴルフ場が、無農薬管理できるようにしていきたいと考えています。

また環境保全の一環として、低公害車の普及促進をはかります。バスやトラックのディーゼル車が大気汚染の大きな原因になっていますが、旧年式の車が非常に多いので、これを最新規制の低公害のディーゼル車に切り替えてもらおうとするものです。低公害車の切り替えに補助金を出すという制度もつくりました。これも全国で初めてです。

矢田　昨年十二月十五日、幕張メッセで開催された「千葉国際環境フォーラム」には、ライオンズクラブも参加しました。啓発されることが多かったフォーラムでした。

各ライオンズクラブはそれぞれの地域で、緑の植樹、河川の浄化、道路の清掃、手賀沼の浄化など活動しており、県民意識の啓蒙に努めております。

八年前の故石橋光ガバナーの時に、県内のライオンズクラブが協力して青葉の森公園に、梅の苗木一万本を寄贈させていただきました。これはその後、青葉の森公園に一部を残して、ほかの県立公園や市町村に分けて移植する結果になりましたが、富津市民公園をはじめ各地で、「ライオンズの梅林」として育っています。

●健康で安心して暮らせる福祉社会へ

矢田　ライオンズクラブは社会福祉に大きな関心を持っており、さまざまな活動を展開しておりますが、現在県で、重点的に進めている福祉施策について、お聞かせ下さい。

知事　ライオンズクラブの皆様には、日頃福祉活動に積極的に取り組んで頂き感謝申し上げます。

すでに、ご承知のとおり、我が国においては、世界に例を見ない速さで人口の高齢化が進んでおります。

本県の六十五歳以上の人口は、平成四年四月一日現在約五十五万人で、総

人口に占める割合は九・七パーセントと全国で第三位という若い県ではありますが、今後、急速に人口の高齢化が進み、平成十二年には、総人口に占める割合が約十四パーセントになると予測されており、高齢化社会への対応を的確に進め、活力ある長寿社会を築いていくことが、重要かつ緊急の課題と考えております。

県では、ひとり暮らしのお年寄りや身体に障害を持つ人など社会的に弱い立場にいる人が、住みなれた家庭や地域社会の中で心の交流を保ちながら安心して暮らすことができるようにと全国に先駆けて、約十年ぐらい前に県が独自にたてた地域ぐるみ福祉総合推進計画に基づき、各種の事業を実施しております。

この事業は、県内全域に、広域福祉圏（支庁単位）・基本福祉圏（市町村単位）・小域福祉圏（小・中学校単位）の福祉圏を設定し、行政や社会福祉協議会・ライオンズクラブなどの民間団体やボランティア・社会福祉施設等と地域の住民が手を取りあいながら、高度化・多様化する福祉需要に、地域においてきめ細かく対応をしていこうとするものです。

また、県では、介護を必要とするお年寄りなどが可能な限り家庭での生活が続けられるようにと、在宅福祉の3本柱であるホームヘルプサービス事業、ショートスティ事業及びデイサービス事業を中心として各種事業の推進により在宅福祉サービスの充実を図っております。

その他にも、老人大学校の整備拡充や笠森保養センターを拡充し、高齢者の方々を中心に親子3世代が交流できるリゾート施設「夢ランドちば」（仮称）の整備等を積極的に進めてまいりたいと考えております。

一方、障害者の方々の社会参加を促進し、安心して家庭や地域で生活できるようホームヘルパーの増員や福祉作業所及び在宅障害者デイサービス施設の整備を図り、在宅福祉の充実を推進することも重要と考えています。また、女性の社会進出や核家族化が進むなか、保育に対する需要が増大していますので、乳児保育や延長保育などの保育の充実を図り、子供からお年寄りまで安心して暮らせる福祉社会を築いてまいりたいと考えています。

●高まる知名度、国際県千葉

矢田　最近は千葉県も知名度が大変高くなってきて、国内はもちろん海外へ行きましても千葉県について認識が高まっているように感じます。国際都市、国際県として千葉県もクローズアップされてきたわけですね。

知事　千葉県には空の玄関として成田空港があり、海の玄関として千葉港があります。また幕張メッセにもおおぜいの外国の方が訪れています。確かに千葉県には国際交流のチャンスがふえています。

千葉県はアメリカのウィスコンシン州と姉妹県州となっています。ウィスコンシン州はシカゴの近く五大湖のそばにある州ですが、この姉妹州と文化交流、教育交流を活発に進めています。昨年はウィスコンシン州から文化使節団が来て、向うの郷土の踊りや、青少年の交響楽団が来て演奏をしたりしました。今年は千葉県からもそういう文化使節団、例えば郷土芸能とか千葉県の音楽集団とかいうものを派遣したり、また子供たちの交流、学校相互の交流を図りたいと考えています。英語圏ですから子供たちの勉強にもなるだろうと考えています。

矢田　ライオンズクラブでも毎年、夏期、冬期に高校生、大学生を約五〇名、四週間海外に派遣し、海外からも受入れてホームステイをしています。今まではアメリカ、ヨーロッパ、東南アジアが多かったのですが、これからは各地の姉妹都市、姉妹州と話を進めた方がやりやすいのではないか、また永続きするのではないかということで、ただいまウィスコンシン州のライオンズクラブと話を進めています。近い将来、ウィスコンシン州との青少年交流が、ライオンズクラブを通じても実現するのではないかと思っています。

知事　それは結構なことですから是非実現していただきたいと思います。実は昨年も京葉銀行が文化使節団を

千葉県では「女性の翼」といって、商工会議所、農協、看護協会などからご推せんを頂いて、毎年四〇名ほどの女性がアメリカに行っていますが、そのコースにウィスコンシン州での数日間のホームステイの予定があり、参加した人の話では、良い家庭で、印象に残る経験と生活ができたということを聞いております。たいへん雰囲気の良い州のようです。

またウィスコンシン州立大学という大変レベルの高い大学があり、この大学の卒業生が日本に約一、〇〇〇名ほどいるそうです。これらウィスコンシンに関係のある個人、団体を会員として、日本との交流を図るため、ウィスコンシン会という会が今度できたそうです。姉妹県だから会の名誉顧問を引き受けてくれということを頼まれました。

わたくし自身、国際人として、努力せねばならぬことが多いと思っています。

●心の豊かさを求めて「さわやかハートちば」運動

矢田　知事は「さわやかハートちば」運動を展開されていますが、大変よい運動だと思っています。

知事　ひとつの県民運動ですが、県民としてふるさと意識を持ち、自分の住む社会を愛するという気持を持ってもらうことが大事なことではないかと思っています。経済生活は豊かになってまいりましたが、併せて心の豊かさを求めていくということが大事なことで、ライオンズクラブもそういう心の豊かさということを大切にする団体だろうと思っています。

矢田　私たちも結局は、明るい、住みよい、豊かな社会を目指しておるわけです。

知事　そういう点で基本的には同じ考えであります。そういうことを県民の方にご理解していただくことが、「千葉に住んでよかった」と思えるような〝心豊かなふれあいのあるふるさと千葉〟づくりにつながるところだと考えています。

矢田　昨年十一月に成田で開催された「さわやかハートちば」推進大会には、私も参加しました。おおぜいの参加者で、とくに若い高校生も多く盛大でした。

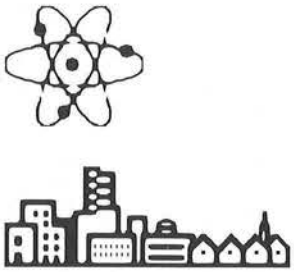
知事　それは有難うございました。あの時は、会場にはいりきれないほど、おおぜいの人が集まってくれました。高校生など今の若い人はドライな面がありますから、ああいう雰囲気を知ってもらうこともよいことだろうと思っています。

千葉県も県外から来訪される人が多くなりました。また成田空港、千葉港、幕張メッセを通じて、外国の人の来往もますます多くなります。たとえばタクシーに乗るにしても、その応対が、千葉県を訪れた人々にさわやかな印象をもっていただくように、お願いしたいものだと思っています。

送って交流し、たいへん歓迎を受けたと聞いております。

矢田　たいへん治安の良い、文化の高い州だと聞いていますが。

知事　そうなんです。千葉県もたいへん良い州と姉妹県州になれたと、喜んでいます。北欧系のアメリカ人がつくった州で、落ちついた治安の良い、日本よりも治安がよいと言われるくらいで、文化も高い州だと聞いています。英語圏ですからいろいろ勉強になることも多いだろうと思っています。



矢田　知事に以前から聞いておりました能楽堂が昨年、青葉の森公園に芸術文化ホールとして落成し、大変有難うございました。落成式では素晴しい能楽を鑑賞できました。千葉県も文化的にレベルが高まってきたように感じております。また奥さまには、千葉市の薪能、文楽公演などで大変ご協力をいただいております。

能楽堂が折角できたのだから、今後も度々やってもらいたいという声も多いのですが。

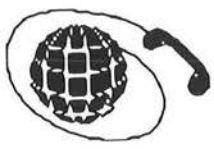
知事　千葉県は能楽愛好家が全国でも指折り多い県だそうです。そういうことでとりあえず春秋二回は公演しようと思っています。「青葉能」ということにしています。

矢田　公人として平素はたいへんお忙しい毎日を送っておられることと思いますが、今年の正月はどのようにお過しになられましたか。

知事　今年の正月はゆっくり休ませていただきました。忙しくて大変でしょう、とよく言われますが、たしかに忙しいのは間違いありませんが、ほどほどの忙しさということは、健康上も大事なことだと思っています。家にポケッーとしていて、することもないというのでは、体力も気力も衰えてしまいます。忙しくて眠るひまもないというのでは大変ですが、そのなかで努力しているのは毎日八時間の睡眠をとるということです。毎日がほどほどの忙しさであれば、それが結構なことだし充分だと考えています。

矢田　ライオンズクラブ国際協会333―C地区（千葉県）年次大会を、四月二十五日、千葉ポートアリーナで開催の予定です。また333複合地区（千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県）大会を五月三十日、幕張メッセで開催の予定にしています。ご多用中でございましょうが、ご臨席のうえ、激励を賜りたいと思います。

本日はお忙しいところを、いろいろ有難うございました。



後半へ向って

地区ガバナー　L矢田常吉

新しい年を迎えて、今年度の任期も半ばを過ぎ、いよいよ後半にはいって来ました。

9月、10月は公式訪問で各ゾーンを回り、各クラブの方々にお会いすることができました。各地で篤い友情とご交誼を賜りましたことに対して、熱い感動を覚えるとともに、深く感謝申しあげます。また周年行事でも多くのメンバーの方々にお会いすることができました。それぞれのメンバーが、それぞれのクラブが、それぞれの地域にあって、活発に真摯にライオンズ活動を展開されていることに対し、全く頭の下がる思いであり、感動の極みであり、啓発され教えられることの多かった機会でありました。会員であることの誇りと喜びを享受するとともに、地域のもっと多くの人々にも入会を働きかけ、この喜びと感動を分ちあいたいものだと思いました。

なるべく多くの方々とゆっくりお話を申しあげ、いろいろご意見やご提案を承りたいと思ったのですが、何分にも夫々の行事の時間と区々のスケジュールの中で、ほんの一部の方々だけの対話になってしまい、失礼の多かったことを大変申訳けなく存じております。

これからの後半、お互いにそれぞれの役職の立場でその成すべき予定や計画、行事を早目にすすめられ、本年も実りある実績の年で終わるよう、ご尽力をお願い申しあげる次第であります。

これからのキャビネット関係の行事予定の概略をお知らせするとともに、以下の若干の点についてご協力をお願いいたします。

◇キャビネット関係の行事予定概略

1月23日（土）	高等学校弁論大会
1月24日（日）	船橋中央LC25周年
1月30日（土）	ZC会議
2月2日（火）	コフィ第一副会長公式訪問
2月7日（日）	君津LC25周年
2月11日（休）	クラブ会長フォーラム
2月19日（金）	献血推進研究会
3月6日（土）	第3回キャビネット会議
3月7日（日）	木更津金鈴LC25周年
3月19日（金）	第3回複合地区協議会
3月21日（日）	飯岡LC25周年
3月28日（日）	野田LC10周年
4月3日（土）	下総LC　CN
4月7日（水）	船橋北LC10周年
4月11日（日）	大網白里LC15周年
4月17日（土）	柏さくらLC　CN
4月18日（日）	館山LC30周年
四月20日（火）	柏なのはなLC結成式
4月25日（日）	地区年次大会
5月30日（日）	複合地区年次大会
6月13日（日）	第4回キャビネット会議

◇ご協力をお願いする事項

〔一〕　CSF（視力ファーストキャンペーン）に、MJF（メルビン・ジョーンズ・フェロー）をはじめ1人10ドル寄金など、成るべく多くの寄金をお寄せ下さるようお願いします。地域の一般の方々にも趣旨をご理解いただき、多少にかかわらずご協力をいただくよう働きかけをお願いします。

〔二〕　国際会長は本年6月30日迄の期間、「10クラブのうち4クラブ運動」というキャンペーンを提唱されています。視力ファースト指定でクラブとして1500ドル寄金を行うものです。10クラブのうち4クラブ以上のご協力をお願いしております。寄金されたクラブには「失明と闘うライオンズ」バナーバッチが贈られます。

〔三〕　地区年次大会は4月25日（日）行われます。登録申込締切は2月末日です。代議員登録と一般参加登録を合わせて、代議員数の2倍以上の人数の登録をお願いします。

（例、会員56名のクラブでは、代議員6名、一般参加6名以上、計12名以上）

〔四〕　複合地区年次大会は5月30日（日）行われます。登録申込締切は3月10日です。代議員登録と一般参加登録を合わせて、代議員数の3倍以上の人数の登録を、お願いします。

（例、会員42名のクラブでは、代議員4名、一般参加8名以上、計12名以上）

YE派遣生レポート特集

後編

オリエンテーションで、本当に大切な所を教えていただいて、自分たちでちゃんと勉強した方がもっと勉強になるのではないでしょうか？　もう1つは制服の問題です。大阪や京都、福岡など色々な地区の子と仲良くなりましたが、みなそれぞれ制服はブレザーだけで、スカートなどには特別規定はなかったようです。制服を作るにしても全国共通にした方がよいのではないかと思いました。

良い体験をさせて頂いた事に、あらためて感謝致します。

大自然白夜のアラスカの夏

八千代LC　田久保英世

僕は、333－C地区よりたった1人でアラスカに行くことになった訳ですが、始めは日本に近くて遠い国交の異国の地で、最近では寂れてきているという噂のアラスカに行くことがとても不安で、しかも他にどんさて、ホームスティに行くまでの段階で思った事ですが、まず月に1度のオリエンテーションについて。はっきり申し上げまして2～3ヶ月に1度で良いのではないかと思います。たしかに大切な事を色々と教えていただいたわけですが、何度も何度も同じことをくり返すのはどうかと思います。もう子供ではないのですから。くり返しやるのであれば、1度ないし2度のホームスティしているという事は心強かったです。私の場合、歩いて1分もかからない、という近さでしたし、ホストファミリー同志がとても仲が良かったのでさいわいでした。どこに出かけるにも友達と2人で、英語の勉強にもなりましたし、心配ごとも2人で克服できました。こんなに近所じゃなくても、近くに日本人又は知人がいる事は本当に心強いです。

近くに仲間のいるのは心強い

八千代LC　平田さやか

あっという間の1ヶ月でした。ホストファミリーの方はNo Lionsで、例会に出たりすることはありませんでしたが、日々がとても充実していました。ホームスティに行って思った事なのですが、やはり近くに友達

なメンバーが行くかどうかなんて全く知らなかったし、ホストファミリーも出発直前の2～3日前に知りました。出発当日、成田で他のメンバーを知り、北海道5人、兵庫1人、高知1人と僕の8人のメンバーで北海道の5人のうち4人が女の子でした。

まず僕達は、MD－4グループとともにサンフランシスコへ向かい、そして無事入国が完了しました。そこまでは良かったのですが、誰がそこにトラブルが待ち構えていると予想したでしょうか。実は、JTBの案内人がいるはずなのですが、いなかったので乗り継ぎの飛行機に乗れなくなるところでした。

7・8月のアラスカは、もう夏が終わりに近づいていましたが、日本に比べ19時間ととても日照時間が長かったことと、晴れる日が少なかったこと、しかしアラスカは雨があまり強く降りません。アンカレッジ市内はとても都会で広大な土地にきれいに区画され、24万人1人ひとりが人間のあたたかさを持った素晴らしい都市でした。ただアンカレッジを離れると道は南北に1本ずつに延び、なかなかガソリンスタンドや、お店がなく、大自然の中に飛び込み突き進むようでした。僕は、アラスカのアンカレッジ市内で2つのホストファミリーを単独でまわることになっていました。両方のホストファミリーともライオンズクラブのメンバーでしたが違うクラブだったので、あまり情報の交換がなかったようでした。

1軒目のホストファミリー（Jeames E Schefers）は、空港からハイウェイで10分ぐらいのところで新築の大きい家で夫婦2人で住んでいました。子供は、2人にはいません。しかし、2人とも離婚した者同士ということなので、事実上5人の子供がいて、旦那さんの方に男2人女1人、妻の方に男1人女1人で皆独立し、別居しています。よく夜遊びに連れてってもらったのが奥さんの方の2人でした。ちなみに、みんなの職業は旦那さんが大工で、奥さんが市の財政部門の国庫部で、子供のほとんどがフェデラル・エクスプレスという運送会社で働いています。

さて、最初の1週間は、アンカレッジ市内の観光をしたのですが、1人でダウンタウンを歩いていると、「お前は、韓国人か?」と聞かれることがあるほど、アンカレッジにはたくさんの韓国人が住んでいます。

2週間目から4週間目にかけて僕は旦那さんの仕事を手伝いました。仕事を始める前に僕は決断を迫られ、「私の仕事を手伝うか、家にいるかは君次第だ」と言われて、家にいてもつまらないし、様々な事に試してみるのも大切なので、僕はお手伝いを選びました。僕は彼の仕事の補佐役として、木を運んだり、板を押えたり、釘を打ったりして頑張りました。結局3週間で外装のみ完成という結果だったので、せめて僕のいる間で完成して欲しかったと思います。また、土、日は、ボートのクルージングと釣りで過ごしましたが、5回行った内、2回は楽しく過ごしたのですが、2回はボートのエンジンが壊れて引き返し、1回はエンジンを直しました。彼らの良いところは、たとえ車やボートのエンジンが壊れようと日本人のようにすぐ買い替えるのではなく、自分で部品を買ってきて直そうとする心があり、何度も何度もボートに足を運んで直しました。物を維持することはとても大切で、すぐに買い替えてはいけないということを学びました。

食事は、朝食は勝手に食べてくれという感じで、昼食は仕事に行く前に食べるので彼次第で、夕食は、ほとんど家で食べ、週に1、2回外食だったと思います。食事の量は思っていたよりも多くはありませんでした。てんぷらやそうめんを作ったのですが、そうめんはホットが好評

でした。

アメリカでは離婚した者同士が結婚しているケースが多く、僕が驚いてると彼らは「よくある話さ」と言いました。僕には考えられませんでした。でも、この家族からはたくさんの口や文章ではとても言い表せない、日本の家族からは絶対教わることのできない、何かを学んだような気がしました。

例会については2回出席し、1回目は自己紹介のみで、2回目はスピーチがありました。ついいマニュアル「This is YE」に頼ってしまったので、ほかの人と同じ内容のところが出てしまい残念だった。自分のオリジナルを使えば良かったと思っています。

2軒目のホストファミリー（Rob Mcwhorter）は、夫婦と5才の女の子1人の3人家族でここでも旦那さんのみ離婚を1回していました。職業は、旦那さんは市役所の経営局に勤めていて、奥さんは専業主婦です。

その家に着いた次の日にMt・Spurrが噴火したので、夜でもないのに8時ぐらいから暗くなり始め、その次の日の朝は、火山灰が積もっていました。生まれて初めて灰かきや火山灰による大気汚染を体験し、とてもびっくりした出来事でした。その週は、おかげでどこへも出掛けることができなかったので、家にいることになりました。

もうラスト1週間ぐらいなので思いっきりアラスカを楽しもうと思い、ホストファミリーにわがままを少し言い、遊びまくることにし、また旦那さんがわざわざ休暇をとって日本で体験できないことを体験するためにあちこち連れて行ってもらいとても楽しかったです。水上スキーをやったり、釣りをやったり、拳銃を撃ちに行ったり、最後の1日は以前から行ってみたいと思っていた、デナリ国立公園にマッキンリー山を見に1人でバスに乗って片道5時間かけて行ってきました。しかし残念ながら悪天候のためマッキンリー山は見えませんでしたが、大自然を満喫し、多くの動物たちにも出会えてとても感動しました。こうして彼らのおかげで最後の10日間を有意義に過ごすことができました。

2軒目のホストファミリーは、短い間でしたがかなり自分の意思をはっきりとさせることができるようになりました。彼らは、1軒目と違って何かと僕に対して世話してくれました。とても真面目な家庭だったので、変わってしばらくは緊張していましたが、じきに慣れました。

今回の派遣生活で感じたことは、英語をもう少し勉強しておけば良かったと思います。聞くことはできたのですが、東洋人にとって難しい発音が幾つかあったので、そこができなかったので、とにかくよく聞き、口と舌をよく動かす練習が必要と感じました。ただ難しい単語がでてきた場合、親切にわかりやすく、くだいて説明してくれたので助かりました。

僕はこの派遣生活をとうして出発前と帰国後ではかなり自分自身が変わったと思います。そして今回の貴重な経験をバネにして、これからの人生を自分のベストを尽くして生きていきたいと思います。また彼らにいつも次のことを考えろ、練習は完璧を作るものだ、根気強さや持続性をもて、とアラスカを発つ前に言われたのでこれらを忘れずにいたいです。僕はハッキリ言って帰りたくなかったです。僕は雄大な自然と温厚な人柄の人々が調和したアラスカが好きです。3年後に帰って来る約束をしたのでまた行こうと思っています。

最後にこのような素晴らしい機会を与えて下さった八千代ライオンズクラブの皆様、協力してくださいました333-C地区のライオンズクラブ国際協会の皆様に感謝致します。

どうもありがとうございまし

た。

P・S・「次期派遣生のために」

・英会話の練習を毎日少しでいいのでラジオ等利用して勉強したほうがいい。また、英会話の表現集などを用いて話すと会話がはずむ。

・情報を早くて正確に、ホストファミリーの早期決定を望む。

・常に世界の社会情勢を知っていたほうがよい。日本の事件などあまり海外には知られていないので、日本中心に話さないこと。

・例会での英語によるスピーチの原稿は派遣生自身で出発前に作った方が良いのでは。なぜなら、同じ内容の人がでるので。

・ポスターのように壁に貼れて、折りたためる日本全図があると自分がどこからきたかを説明するのに便利。

・This is YE以外に333-C地区のみの英語の日常会話と表現のテキストを作ったほうが良いのでは。

「感謝」と「思いやり」の大切さ

習志野中央LC　植田慶政

はじめに、今、何が自分にとって大切かと自問自答する。はじめにでてくるのは『感謝』『思いやり』だ。NZの人たちはものすごく親切にもてなしてくれた。初日の方では『異国にいる』という大きな不安が表面には出さなかったが、心の中には存在していたのは気づいていた。その時彼らはとても親切で日本人にない思いやりを感じた。そしておのずと感謝という言葉が思い浮かんだ。正直にいうと自分の行った国に行く前はやはり自分も日本人は日本人でくだらない考えなどが多かった。国でしばらく過ごしてそのくだらない考えがなくなった。そのくだらない考えというのは、ずうずうしさだ。よくこの旅を考えて見ると本当にライオンズクラブ以外の人は体験できないだろう、残念なことだと思う。こんなすばらしい体験する機会を与えて下さった人たちに多大な感謝をしたいです。もし機会があればもう一度自分の行った国や他の国へ行き文化などを学びたいです。

人の心も広大なアメリカ

八街LC　眞行寺　綾

アメリカとは何て広大なんだろうと、つくづく感じさせられた。それは、国内航空を利用した時、車で道を走っている時、どこまでも続く地平線と夕日が今でもまぶたの裏に焼きついていると言っても過言ではないほど、記憶は鮮明である。広大なのは土地だけではなく人の心も一緒だった。決して日本人の心がせまいというわけではない。ただ、日本人の心とは何か一つ違った広さが、あたたかさがあったと思う。

初め、ネブラスカ州の主都、リンカーンに着いた時、とても緊張した。それはそこにいたYEの人たち、皆も一緒だったと思う。「どんな家族なんだろう

YE派遣生
レポート特集

か。」「そのうちの誰が迎えに来ているのだろうか。」と。私はホストファミリーの方に、行く直前に電話をいただいた。その時私はまだ学校に行っていたけど…。そのこともあったせいか、とにかく、とても緊張した。周りの人たちが、ホストファミリーの方々とどんどん行ってしまう。私のホストファミリーは？　不安気にしていた私の前に「アヤ？」と話しかけてくれたのは、小柄な夫人だった。その隣には娘さんがいた。その時からアメリカの生活が始まったのである。

その日は、近くのスーパーに買い物に行き、ホストマザーの父母、ホストファザーの母にそれぞれ会いに行った。皆、とても歓迎してくれて、とてもうれしかった事をよく覚えている。

私の滞在したスペリオールには、私を含めて3人のＹＥの人たちがそれぞれの家に生活していた。長野から来た伊藤ゆう子さん、同じ千葉から来た佐藤桂子さん、そして、スペリオールから少し行った所にもう一人、工藤昌子さんといって北海道から来ている人がいた。その方たちのそれぞれの家庭におじゃましたりもした。スペリオールの人口は２５００人で、とても小さな街だけど、とにかく何でもそろっていたのがすごかった。スーパーに銀行はもちろんのこと、靴屋にファンシーショップに薬屋。はてには映画館まで。私の街よりもずっとすごいと感心したものである。車で10分くらいのところには湖があったり、やはり車で15～20分も行くと、カンサス州である。自然は豊かで、とてもよい環境だった。

普通の日は、朝8：30～9：00に起きて朝食を作り、食べる。そのあと、シャワーを浴びて、洗濯ものがあれば洗濯をしたり、部屋の掃除をしたりする。午前中はテレビを見たり、ポーチに行ってブランコに乗ってくつろいだり、飼い犬と一緒に遊んだりした。お昼になると、ファザーとマザーが帰ってくるので、一緒に昼食をとる。あとかたづけが済んで、また2人が仕事に行ってしまうと、街へ買い物へ行ったり郵便局へ行ったり、プールに行ったり、また、3人の家に遊びに行ったりもした。どこの家の人も、私達が来たからといって生活習慣を変える訳ではなかったし、気を使うわけでもない。だから、かえってそれが身近に感じさせられる理由でもあったかもしれない。私たち日本人はやたらと気を使うものだなと、改めて考えさせられる時でもあった。

私の家族は、ファザーとマザーのＭｒトンプソンとＭｒｓトンプソン、長女のキャリー、長男のマイク、次女のアンジィーの5人家族だった。ふだん、キャリーはリンカーンに住んでいて、スペリオールには本当にたまにしか帰ってこない。長男のマイクは私と同い年でとてもシャイな男の子だった。末っ子のアンジィーはとてもおちゃめで、かわいい子だった。私より1つ年下。8月のはじめごろ、長女のキャリーが帰ってきた。アンジィーの誕生日と兼ねての事だった。ベッドの事で問題になった。結局、私がアンジィーのベッドに寝ることになり、アンジィーはおりたたみのベッドで寝ることに…。私が使っていた部屋は実はキャリーがリンカーンに行く前まで、ずっと使っていたものだったから、アンジィーには迷惑をかけたものだと、つくづく思った。

次のようなこともあった。オマハに家族旅行に行った時のこと。2泊3日の旅行だったのだが、ホリデイインに1部屋借りた訳なのだが、それはセミダブルのベッドが2つの部屋だった。もちろん旅行に行ったのは5人。2人ずつ寝ても1人余る。その1人分をおりたたみのベッドを借りて、マイクが寝たのである。Ｍｒ、Ｍｒｓトンプソンが1つに、もう1つにアンジィーと私。狭いとは思ったけど、楽しい旅

行だった。そのオマハで室内ジャングルのある大きな動物園に行った。とにかく広く、設備の整った動物園で、1日中歩いてやっと見まわれるぐらいだった。でも、どんなに広くても、動物の仕草は一緒。ただ暑くてぐだーっとしているだけ。「どこの動物園も一緒だなぁ」と言ったら「それは言えている」と笑ってうなずいていた。共感を得たといえば、大統領選挙の中継を見ている時のこと。ブッシュ大統領もクリントン候補も同じような事を言っていて、

「本当に口だけなんだから。まだ、解決しなければいけない問題はたくさんあるのに…。」とMrsトンプソンは言っていた。それには私も同感して言った。「日本の首相も政治家も口ではあれをするこれをすると言っているけれど、なかなか実行に移すことはできない。それに関わる難しい問題がいくつもでてきているから。」と。日本ですら、解決しきれない問題がたくさんあるのに、あんなに国土の広い人口の多い国ではもっと多くの難しい問題があるんだなぁとつくづく思った。

近くの、と言っても車で10～15分くらいの湖には土曜、日曜とよく遊びに行った。アンジィーが免許をとってからは特にだ。水着を着て、タオルを持って、途中のスーパーでジュースとお菓子を買って、湖へ。少し水は汚れているけれど、おかまいなしに泳ぐ。泳いだあとは、近くのシャワーのあるところでシャワーを浴びて家へ…。湖の近くでバレーボールの試合やソフトボールの試合を見たり、キャンプをしたりした。キャンプというよりはバーベキューなのだが、佐藤さんのホストファミリーのスミスさんと一緒に行った。そこでバーベキューをしてそのあとにボートに乗った。夜になって星を見たり、歌をうたったりして楽しく過ごした。夜になると散歩をしたり、映画を見に行ったり、ドライブに行ったりと、盛りだくさんの日々で充実していた。

佐藤さんが譲ってくれた、そうめんを作ったり、天プラを作ったり、スキヤキ、ご飯、茶わん蒸しを作ったりと、日本食をたくさん作った。結構好評で、レシピを教えてほしいと言われた。私も同様に、アメリカの料理や、お菓子のレシピを教えてもらった。

乗馬をしたり、サイクリングにショッピング、プールに行ったりと毎日が楽しく充実していた。日本に帰ってきてもその生活を忘れたくない。また、機会があれば、またホームスティに行きたいと思う。アメリカで学んだ事は大きな宝だと思う。

湾岸戦争に行った海兵隊員

千葉京葉LC　高田和代

1　派遣先について

アメリカ合衆国、カリフォルニア州、Stockton & Hemet（MD－4）

2　ホスト家庭について

イ　2つのホスト家庭にお世話になりました。

ロ　最初の家庭（ストックトン）では一人で、

第2ホスト家庭はダブルホストでした。

3　どちらもライオンズクラブではありませんでした。

4　どちらもライオンズクラブではないため行ってません。がストックトン近郊のクラブのピクニックに参加しました。

5　第1ホスト

YE派遣生
レポート特集

23才と22才の夫婦で1才になる男の子がいました。年齢も近いし、とても親切な方たちでした。

サンフランシスコなどの観光地の他に町中のいろいろな所（デパートや病院や食料品店etc）に連れていってもらったので、外国が始めての私としてはおどろくことばかりでした。

ショーンさんは海兵隊として、湾岸戦争にも行っていたそうで写真も見せてもらいましたが、日本人としてはテレビでしかみない事がすぐ身近な事で、奥さんは1人でアメリカで待っていたんですよね。その話しをしていて、やはり考えさせられるものがありました。

またいつでもいらっしゃいと言っていただいて、とても良い3週間でした。

第2ホスト

最初に決まっていた第2ホストが急に変わって、名前しか知らない状態で飛行機に乗ったのですが、現地のライオンズの方々が全部準備して下さって、新しい家庭まで送っていただきました。

ここは、両親と10才と6才の男の子が家にくらしていて、まだ上に何人か独立した子供がいるそうです。

家が大きくてびっくりしました。オーシャンサイドの別荘で海水浴を楽しんだり、ジューン・レイクという湖に連れていってもらって、ニジマスをつらせてもらいました。

始めて教会に行ったのですが、テレビでみるようなかたくるしさはなく、良い経験でした。

家が医者なだけにエイズの現状や、アメリカの現状などいろいろと話したのですが、私にもっと英語力があったらもっと話し合えたし、深いところまで理解できたのにとそのことがとても残念でした。

6週間は長いかなと最初はちょっと心配だったのですが、行ってみれば新しい事ばかりだし、楽しくてあっという間に過ぎてしまいました。

家庭で暮らすというのは観光旅行と違ってなかなか出来ません。こんな貴重な機会を与えて下さってどうもありがとうございました。

ちょっとした人気者の気分に

千葉京葉LC　石丸順子

私は、ネブラスカ州のヒブロンという町に6週間、スティしました。ヒブロンはネブラスカ州の州都リンカーンから車で約2時間半はなれたところでした。ヒブロンは人口はよくわかりませんが、小さな町なのに、食料品店、郵便局、薬局、映画館、病院といったものは、家からあるいて1分くらいのところにあり、いなかでありながらくらしやすい町でした。外国人は住んでいない地域でめずらしがられ、通りを歩いている時、お店に行った時、会った人はみな声をかけてくれたり、話しかけてくれたりと、友好的な雰囲気をいつも肌で感じとることができました。ガールスカウトのキャンプを見に行った際に、私1人だけが外国人ということで、子供だけでなく大人までにサインを求められ、みんなの着ているTシャツにマジックでサインをした時は、ちょっぴり人気者気分まで味わったのでした。

私のホストファミリーは、36才のGale、28才のAudrey、ホームスティ中に3才になった女の子Alexisの若い家族でした。GaleはAu

dreyのご両親が26年前に始めたという土建業を手伝い、Audreyは、day careといって在宅保育園をやっていました。Alexisはpreschoolのサマーセッションに週2回午前中行っていた他は、Audreyのやっているday careですごしていました。私は大学で小学校の教職をとっていることもあり、子供に関心があったし、好きだったので、普段は9：00か10：00に起きると、day careの子供と一緒にすごしていました。day careは、朝6：00ごろから夕方6：00くらいまでで、だいたい12～13人の子供が来ていました。夏休みであったこともあり、6ヶ月の子から新3年生の子までと年齢はさまざまでした。幼稚園とは違うので、特に何をするといったカリキュラムのようなものはありませんでしたが、絵本の読み聞かせの時間、工作の時間、お絵かきの時間、プールの時間など、いろいろな工夫もされていて、私も自分の幼い時期に戻ったような気持ちで毎日を楽しんでいました。子供が、みんなすごく私のことを好きになってくれたので、私も本を読んであげたり、A・B・Cを教えてあげたり、おむつを替えてあげたり、お食事のしつけをしたりと、ついつい子供たちに手を出していました。私は自分が次女ということもあり、小さい子に接する機会がいままであまりなかったのでわかりませんでしたが、実は、すごく小さい子供が好きだったんだ…と自分の新たな面を発見したような気もしました。こんなわけで、私はホストファミリーと絶えず一緒に生活していたため、話しをする機会も多くもて、子供のお昼寝の時間などには、日常生活のことから、お互いの人生観まで話しあいました。ホストファミリーと私の年齢が近かったこと、大学での専攻が同じであったことも好都合でした。夜は11：00ごろまでファミリータイムで、テレビをみたり、日本のことや私の日本での生活などを、この時はGaleも一緒に話したりしました。GaleとAudreyの小さい頃から結婚式までの写真やビデオを見せてくれたり、Alexisの記録ビデオを見せてくれたりと、本当に家族の一員として扱ってもらえたので、毎日楽しくすごせたのでした。

また、GaleとAudreyのご両親や兄弟の家は、すべて訪ねました。なかでもAudreyのお母様は同じ町に住んでいたので、2人で買物やお食事にはよく行きました。ヒブロンに長く住んでいらっしゃる方なので、町の説明もしてくださり、いろんなことを教えて下さいました。手作りの夕食に招いて下さったり、ここでも楽しくすごしました。

そして、Audreyには4才年上のお姉さんがいてカンザス州とネブラスカ州の境いのあたりに住んでいました。ご主人様がコーン畑などを持っていて、やはりライオンズクラブに入っていられ、子供も3人いて、スティ中はいろいろな所へ連れていってもらいました。私は大学での自分の専攻を生かした体験をしてきたいと思っていたので、大学に連れていってもらいました。事前に大学側に予約をとってくださっていたので、職員の方がキャンパス内を案内してくださり、大学のカリキュラムの資料までもらえたので、とても良い経験となりました。私立大学（教育関係のすぐれていると

YE派遣生
レポート特集

ころ）と、州立大学とを訪ねたのですが、スケールの大きさ、カリキュラムにおいて人々の考え方など、日本とはかなり違い、よい勉強になりました。その他、州都やショッピング、キャンプにも一緒につれていってもらったのですが、この思い出を忘れないように、また家族も楽しめるようにと、ビデオに撮ってくれたのも、うれしかったです。

この他に、ファミリーは世界に1つしかないといわれる室内ジャングルのある動物園や、映画、博物館、旧軍事基地、そして私の専攻に関係あるところとしてはコミュニティカレッジ、小学校、高校に連れていってもらいました。観光ではなく生活体験のはずのホームスティなのに、ファミリーが私にいろいろな体験をさせてくれ、充実した毎日でした。毎日の出来事や生活をしていて考えたことを、日記に書いていたら、120ページ程にまでなりました。ファミリーにいつもお礼を言うと、「私の方があなたが来てくれたおかげで、こんなに楽しい毎日がおくれて、あなたに感謝するわ」というふうに言ってくれ、こんなに幸せな生活をアメリカでもできて私は幸せ、来てよかった…と毎日感じていました。ファミリーとはこれからもお互いの生活や意見を報告したり、交換する約束をしてきました。今回のスティをはじめとし、これからは文通でお互いに意見交換をして、自分とは違った考え方や生き方を見ることで、高めあっていけたらすばらしいなあと思います。そのために、これからもさまざまな学習や体験を通し、私自身成長しつづけていきたいなと思いました。

最後になってしまいましたが、私のスポンサークラブであった、千葉京葉ライオンズクラブをはじめ、多くのライオンズクラブの方々に、二度とは体験できないこのようなすばらしい経験をさせてくださったこと、心よりお礼申し上げます。どうもありがとうございました。そして来年や、その後YE生になられる方も、すてきな体験をなさいますように…。

イギリス半周の感じ

八日市場LC　伊藤富美子

私は幸か不幸か5つの家庭を巡りました。ホームスティイギリス半周旅行と言った感じでしょうか。5つの家庭みんな違うタイプの家だったけど、それなりに順応してしまったみたいです。けれどやはり5つは多すぎる！　というのが私の感想です。出会いも多かったけど別れも多かった。多すぎた！　それだけに印象の強いものとなったらしく、私は最初の3日しかつけなかった日記を帰りの旅路と家で起床～就寝まで100%覚えていた。自分でも驚いてしまった。（本当はいけないことですけど）。

私は日本の文化が好きで、壁にたくさん物を飾ったりするのとかは好きじゃないし、ポプリの香りで人間の臭いを消そうとするのも好きじゃないから最初は一種の中毒になりそうだった。どうして英国人はゴテゴテしたものが好きなんだろうとすごく思った。そして益々日本のワビ・サビが好きになった。普段見慣れたタタミや障子やかけ軸が東洋の神秘に思われた。

また夜の静寂は（日本だと勝手気ままにTVやステレオつけていてうるさい）私にたくさんのことを考える余裕を与えてくれた。よい家族に巡りあえたこ

ともそうだけど、このYEで私は自分の将来に対する確かな考えという素晴らしいものを得た。出発前は、受験生なのだから夜は毎日勉強しようと思っていたが、何だか日本でのあのせかせかした生活がバカらしいというか、どうでもいいように思われてたまらなかった。だから私はイギリスの学生たちと同じように夏休みをエンジョイすることと、将来への限りない夢を考えることしかしなかった。きっとクラスの誰よりも勉強は進まなかった（いやマイナス）だろうけど、そんな物には替えがたいものをたくさん得ることができた。

3つ目のホストはEnglandでなくWalesにあった。みんな何か変な言葉をしゃべっている。英語じゃない！ウェールズ語だ。イギリスは英語だけだと信じていたのに！ここの家では家の人同志でしゃべっているのは全く理解できなかった。いい気持ちはしない。我々日本人はホストの前では決して日本語を使わないように気づかったのに、英語をしゃべってほしかったというのは身がってな話だろうか？と考えた。

私がスティしている間でいやなことなんてハッキリ言って1つもなかった。そういう意味ではとても幸せだったと思う。5けんが5軒ともよい家族で本当によかった。

英語の語学力不足が悔まれた

旭LC　浪川麻子

私は6週間の予定でニュージーランドに行かせてもらいました。最初は異国で6週間も過ごせるかなあと、少し不安でしたが、行ってみるとあっという間の6週間でした。

私の第1ホストは、ニュージーランドの北島にあるストラットフォードという小さな町でした。家族は、お父さん、お母さん、高校生のカトリーナ、11才のカメロン君でした。最初は私もホームスティなんて初めてだし、ホストの人達も受け入れは初めてなようで、慣れるのに時間がかかりました。けれどホストの人達はとても優しく親切に接してくれました。夜は学校にバレーボールをやりに行ったり、演劇を観に連れていってくれたり、本当に楽しいことばかりでした。

日本と違うなと思ったことは、ニュージーランドの高校生は、学校生活以外のクラブや、サークル所属など、個人活動が多いと思いました。

次は食べ物です。私達は3食ごはんの時が多いけれど、ニュージーランドの人達は、朝食にトースト、フレーク類などの軽いもので、昼はスープ、パン、夜は必ず肉と野菜でした。お肉があまり好きじゃない私にとって、「ラム」はとてもいやだったけど、作ってくれた人に悪いナと思い、我慢しながら食べていたら、そのうちとてもおいしくなってしまいました。それにニュージーランドの人は、間食が多いです。午前と午後と夕食の後に必ずティータイムがあります。ほとんどの人がミルクティーを好みます。

ここにいた時は、ライオンズクラブの主催でキャンプをしました。ハイキングに行き夜は星座を沢山見ました。

初めての天の川と空一面の星空でとても感動しました。

第2ホストは南島にあるティマルという海沿いの町でした。お父さんはレンタカーの会社を経営していて、お母さんは専業

主婦でした。高校生のマシュー君がいました。このお父さんはとても忙しい人で日曜日でも携帯電話を持って仕事の電話をとるような人だったので、買物とか観光はすべてお母さんと一緒でした。

ダブルホストだったので、おこられる時はいつも「英語で話しなさい」でした。

こちらでは旅行に連れていってくれました。ティマルからグレイマウスという所まで列車の旅行でした。ニュージーランドで唯一の観光用の列車だったのに、時速30キロぐらいで車より遅いのでびっくりしました。途中8キロのトンネルがありました。その日はホテルに泊り、シャンティータウンというところで砂金を採ってきました。今では私の宝物となっています。この日は出発から寝過して駅までのバスに乗りそこなったり、ホテルのレストランが停電になったり、ハプニング続きだったのでよく覚えていますけど、とても楽しかったです。

最後の第3ホストは、お父さん、お母さんといっても、仕事はもうリタイヤしている人達で、ここでもダブルホストでした。ここではニュージーランドのありとあらゆるものを見たという感じでした。2週間のうち2〜3日ぐらいしかフリーディがなく、あとは全部予定が組み込まれていて、毎日観光でした。

ロトルアのガイザーを観たり、マオリの集会所を見学したり、タウポ湖に、釣をしに行ったり、みんな楽しいことばかりでした。イタリヤからの留学生も一緒だったので、その人たちとも仲良くなりました。

今ニュージーランドの生活を振り返って思うことは、やっぱり英語の語学力が不足していて、もっと英語が話せたら、あの時の会話も、もっとはずみ楽しいものとなっただろうと悔んでいます。

もしもう一度ニュージーランドに行ってお世話になった人に会えるなら、たくさんありがとうと言いたいです。

私はニュージーランドに行って、本当にたくさんの事を学びました。ただの違文化ではなく、言葉では表現できない、いろいろな感情と考え。私は6週間ニュージーランドで過し本当によかったと思います。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

インディアンの地 サウスダコタ

木更津金鈴LC　池田実輔子

私のホスト家庭の街はRapid city〈ラピッド シティ〉です。サウスダコタの左下にある街で、サウスダコタの中では2番目に大きい街である。有名なのはやはり歴代の大統領の顔が刻まれた山ラッシュモアであろう。そして、サウスダコタはインディアンの地とも知られている。自然がたくさん残っているので、自然から作られたものが多い。例えば、高くそびえるブラックヒルズ山や鍾乳洞などである。夏の行事としては、バイクのラリーやフェアー（日本の遊園地に似ている）などがある。気候はあまり日本とかわらないが日が暮れるのがおそい。ブラックヒルズゴールドがとれる。

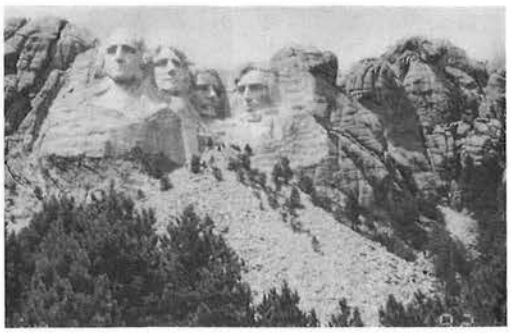
ダウンタウンラピッドシティのライオンズクラブは主に、アイバンク関係の仕事をしている。各個人で役割りを決めてあるようだ。ミーティングの時は、それぞれの結果を報告しあう。ライオンズのアイバンクのための建物がある。世界各国、多種、仕事の内容はあると思うが、何週かに1度くばられている、ライオン紙ではライオンズの仕事がみごと花ひらき人々のために約立っているということが、一目でわかるようになっていた。私はとてもすごいと本当に思った。

仕事内容（アイバンク関係）

・カレンダーやライオンズミン

ト（菓子）を売り、そのお金を寄付する。
・メガネセンターで、つかわないレンズやフレームをあつめて南アメリカ、メキシコに寄付する。などその他ｅｔｃ

ホストファミリーとの生活では、ホストのお父さんやお母さんが仕事に行くと、とてもひまな時間があったが、ほとんどの日は、だれかがどこかにつれていってくれ、ほとんどひまな日はなかった。



たまに映画やミニチュアゴルフにつれていってくれて家族とすごすのがとてもたのしかった。大人もみなゆとりがあるので、夜、ビデオをかりてきて、みんなで見たこともあった。手伝いは全くしなかった。でも、たまに皿洗いや家のそうじをした。

ほとんどの日、お父さんがバイクでいろいろな所につれていってくれて楽しかった。言語はたまに通じないこともあるが、ホストファミリーの人が、なんとかわからせてくれるよう努力してくれたので、苦労はなかったです。行った所としては、

ラッシュモア、バイクのラリー、キーストン（買い物屋がたくさんならんだ所）、デパートやホットスプリングス（街）やフェアーやその他いろいろ行きました。

自分自身で体験した日本とアメリカの文化のちがい

ＪＡＰＡＮ

・くつをぬいで家に入る
・浴そうとシャワーを使う。シャワーは手でもって使える。中は広い。
・おふろは夜はいる。
・地下室はあまりない。
・車はあまり長い年月のらない（約10年以下）。
・ポイすてしてはいけないのだが、実際はよく見る。
・魚介類をよくたべる。
・お米をたべる（スシなどの米を使った物も）。
・日本ではコカコーラが1本約１１０円である。
・毎日、洗たく物を洗う。

ＡＭＥＲＩＣＡ

・土足で家に入る。
・おふろは、シャワーだけ。浴そうもあるがほとんど使わない。シャワーは手でもてない。中がせまい。
・ほとんどの人が朝はいる。
・地下室がある。
・１つの車を何十年もかけてのる（しばしば、とても古いのもある）。
・道にポイすてはしない（道にゴミがおちてない）。
・魚介類はたべない（海草も）。
・たまにしかごはんはたべず、通常はパンである。
・食べ物が非常に安く、コカコーラが6本で2ドル以下（約２５０円しない）。
・洗たくは約3日に1回程度である（家庭によって異なる）。

など、私が感じただけでもたくさんのちがいがあり、生活習慣のちがいを感じさせられた。

来年サウスダコタへ行く人のために

私が特別に持って行ったもの

・薬（頭痛薬、腹痛薬、玉露丸、トローチ、かぜ薬、バンソウコ

ウ）

・本（小説など）
・食べもの（みそ汁、のり、おかし）
・トラベラーズチェック
・厚めの長袖（2着程度）

必ず持っていくものの注意

・お金は、おみやげ代分くらいがちょうどよい。あまり持っていくと相手によくみられない。だいたいアメリカの物は日本の1／2で、食べ物ならもっと安い（約500～800ドルがよいと思う）。
・おみやげは、日本らしいものがよい。買ったものでなくても手作りなら、気に入ってくれると思います。アメリカの人は鶴など、めずらしがり、私はよく鶴をおりました。
・辞書は、コンパクトで和英とか英和が1つになっているとはこびも便利で、使いやすい。
・おみやげに海産物はあまりよくないようです。なぜならアメリカ人は（サウスダコタの人は）たべません。私はもっていってみんなに見せたが、まずそうという顔をしていました。

最後に、私がアメリカに行って思ったことは、自然がたくさんあってとてもきれいな所だなぁと思いました。ホストファミリーのみなさんも、陽気な人ばかりで、毎日がとても楽しくて帰りたくないほどでした。日本とちがって、渋滞もなく車がスイスイと移動できるのがよかったです。いろいろな所につれて行ってもらったけれども、中でも驚いたのは、ラッシュモアやバイクラリー、そして、となりの州のワイオミンのデビルスタワーです。ラッシャモアはとても巨大で、人が彫刻したとは思えないほど精巧に作られてあり、深い歴史を感じました。今、サウスダコタに製作中ですがやはり、山に彫刻をするという方法で、クレイジーホースというのが作られています。いつか見に行きたいと思っています。ワイオミンのデビルスタワーは、まさに自然の産物であり、火山のマグマがそり上ってできた大きな山を近くでみて、とても感動しました。

私は、アメリカがとても好きになりました。アメリカ人には日本人が失くしてしまった心のゆとりを持っている人々だと思いました。

私の家は忙しくて、とても家族でそろってテレビを見るなんてことはありませんでしたが、アメリカではみんなでテレビを見たり、映画をみたりできて、とても楽しかったです。お父さんとお母さんに（アメリカの）買い物につれていってくれたり、つりやミニチュアゴルフにも行って遊んだことが、今でも楽しい思い出として思い出されます。私はホストファミリーのみんなが、とても好きになりました。言葉のちがいはあったけれども、私も私なりによく話せたと思いますし、アメリカのファミリーも一生懸命に聞いてくれたので、今思えば日本語で話をしていた気がします。最初の不安はただの気苦労でした。でも、英語がうまく話せない時は「もっと勉強すればよかった」と何度思ったことかわかりません。特に宗教の話をした時は辞書を使いながら話したことは今でも忘れられません。もし、また次に行けるチャンスがあったら、もっと英語を勉強してから行こうと思います。最後に日本人とアメリカ人のちがいはありません。私のアメリカのお父さんは日本人が好きだと言っていました。これからもYouthExchangeを通じて日本とアメリカ人の相互理解を深くできたらいいなぁと思います。最高の夏休みでした。

私が元気に行ってこられたのも、ライオンズクラブのおかげです。思ってみれば、私はみなさんにご迷惑をかけてしまい、とてもすまない気持ちでいっぱいです。本当にすみませんでした。しかし、本当に人生にとってのすばらしい経験ができたと思います。いろいろありました

が、ライオンズクラブのキャビネットの方々や、役員の方、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。これからも、ライオンズクラブのＹｏｕｔｈ Ｅｘｃｈａｎｇｅのますますのご発展を期待いたします。

ぜひこれからもがんばって下さい。

思い出は数えきれない程

君津ＬＣ　守　直美

高なる胸をおさえて、私は7月16日、日本を出発した。サンフランシスコ空港には無事到着したものの、乗り換えの飛行機が悪天候のため、なかったので、ホストファミリーとの対面が一日延期になってとても残念だった。

ホテルを朝早く出発し、飛行機をもう一回乗り換えてやっと私のホームスティ先であるネブラスカのリンカーン空港に到着した。搭乗口を出ていくと、私は他のメンバーの誰よりも早く、ホストファミリーの方と対面した。

ホストファミリーの方の家につくと、奥さんは私のためにケーキをつくってくれてあった。ケーキの上には「Ｗｅｌｃｏｍｅ ｔｏ ｏｕｒ ｈｏｍｅ Ｎａｏｍｉ」とデコレーションしてあって、とても感動した。

だんなさんは大工、奥さんは主婦をしている家庭だった。

普段の日は、奥さんにクロシェイやクラフト類を教えてもらったり、ケーキやクッキーを一緒につくった。とてもおいしくて、簡単につくれるものだったので、調理方法をメモして、持ち帰るほどであった。

週末には、ダンスホールやミュージックフェスティバル、ピジョンレース、デモレーションダービーなどたくさんの場所につれていってくれた。ホストファミリーの方は皆、ダンスとミュージックが大好きなので、私もダンスを教えてもらって一緒に踊った。

でも、やっぱり一番問題なのは、会話。私のホストファミリーの方は7年間もＹＥ生を受けいれているところだったので、私の言おうとしていることはだいたいわかってくれましたが、前もって勉強しておくにこしたことはないと思う。

今は、「数えきれないほどの思い出をありがとう」と心から感謝しています。十代最後のこの素敵な夏休みを私は一生忘れません。

星と緑の美しいスペリオルへ

鴨川ＬＣ　佐藤桂子

私は交換留学生としてネブラスカ州のスペリオルという、とても星と緑の美しい小さな町で、6週間に渡るホームスティを体験しました。

私のホストファミリーは、パパ、ママ、17才のセンディー、10才のジェシー、4才のマイクの5人で、ライオンズクラブのメンバーではありませんでしたが、とても優しく親切にしてくれました。心配事は何一つありませんでしたが、自分自身の英会話力のなさに自己嫌悪におちいった日もありました。スラスラ会話できたら、10倍、20倍も色々な事を理解できたことでしょう。

スペリオルには、私の他に2人、近くの町に1人ホームスティをしていたので、分からない事をすぐ相談できたのでとても安心していられました。

YE派遣生
レポート特集

センディーはマンモスクッキー、ママはアップルパイ、パパはステーキを焼いてくれました。私は日本からのお土産として、茶そばをつくったり、ゆかたを着て町を歩いたり、一緒に写真をとったりしました。

やはり、家族として生活した6週間はとても長く、8月26日に、リンカーン空港で別れる時はとても辛く、涙を見せてしまいました。

本当に、スペリオル、そしてスミス家にスティする事ができてとてもうれしく思っています。センディーとは来年の夏日本で会う約束をしました。私は今よりも友情を深めるため、英語を一生懸命勉強したいと思っています。

最後になりましたが、かけがえのない貴重な体験をさせて下さったライオンズクラブの皆様方をはじめ、アメリカの友人、そして両親に心から感謝しています。

本当にありがとうございました。

ドイツ学生は勉学に積極的

大網白里LC　山田美智子

私は、この夏ライオンズクラブ夏期派遣においてドイツへ7月18日から8月28日までの約40日間行ってきました。

成田からフランクフルトに着いた当日は、日本からのドイツ組の中のフランクフルトに近いホストだけが迎えに来ており、その他私達はまず市内のユースホステルに一泊し、翌日改めて、フランクフルト駅からお互いホストへ向けて出発した。

私は第1ホストがダブルだったので、東京からの方といっしょだった。フランクフルトからMunsterまで行き、ホストの方が出迎えて下さった。そしてそこから車で約1時間位のMeppenという町で1週間滞在した。そしてそこから車で1時間半位のBad Zwischenahnで2週間のキャンプが待っていた。キャンプといっても寝袋にテントといったものではなく、設備の整ったホテルのような所だった。そしてここでの2週間は本当に一日一日を大切にというか、有効に過ごしたと思える。次に第2ホストに行くため、Bad Zwischenahnから Oldenburgまで車で送ってもらい、そこからSingenまで約8時間の一人列車の旅となった。もちろん乗りかえも3回あったので、不安でおちついて乗っていられなかった。がなんとか無事到着しホストの方と会った。ここでの3週間とっても楽しかった。Singenという町がドイツ、オーストリア、スイスの国境に位置していることもあり、車、自転車で何度か行くこともできた。

ドイツで約40日間過ごしてきて、やはり文化の違い、習慣の違いを最も感じた。日本とドイツのどちらも国の方が良いかという批評はできないけれども、いろいろな面で刺激されたことは確だと思う。皆、目的をもって生活している。学生を例にとってみても、はたして今、日本の学生は将来の目的のために、学校を選択し勉強しているかどうか考えさせられた。もちろん日本とドイツでは根本の教育システムからして異なるが、積極性がドイツの学生は強いと感じた。私達は日本人であるから、ドイツの教育システムや、生活様式をそのまま受け入れるわけにはいかないが、それを一つのきっかけとして、それぞれに意

志と自覚をもって生活しなければならないのではと思う。私はホストの方に何度もＴｒｙという言葉をかけられた。その言葉が無駄にならないようにしたいと思う。この夏の体験はとっても楽しかったし、勉強になった。そして、大きな思い出ができたことを嬉しく、またライオンズクラブの方に感謝しております。

ドイツでブルーベリーの収穫も

成東ＬＣ　九鬼由紀子

「どうしよう、心配だな、全然英語わかんないよ」と、私がドイツの空港について初めて口にした言葉のような気がします。あれから40日間過ぎて、今、本当に大変な経験と勉強をたくさんした気がします。今、私の心は充実感で満たされています。

ドイツで、まず、空港について、私は憧れと喜こびの御対面というような場面に出会える気で、すっかり心浮かれていました。しかし、話を聞いてみると、ホストファミリーは空港には来ていず、私のホストファミリーは遠く、翌日、電車で行かなければならないというのです。私はショックのあまり気が動転してしまいました。それから私は「どうしよう、明日電車できちんと行けるだろうか、英語は通じるのだろうか」とずっと心配ばかりしていましたが、今となっては、「心配しなければよかった」と後悔しています。

そして、無事にホストファミリーに会うことができ、英語を二言、三言、話すようになってやっと「今、私は英語で生活できるんだ」という喜びを感じました。自分では、英語は苦手だと思い込んでいた部分もあったので、これで解消しました。それから毎日、第1ホストの人たちは、私にとても優しくしてくれました。そして、いろんな場所へ案内してくれました。私がドイツの歴史人物に趣味があると言えば、歴史人物とドイツの歴史についてしばらく語ってくれ、とても有意義な毎日を過ごしました。日本には以前、長女がライオンズでやはりホームスティに来たそうで、大変日本が好きなのだそうです。そうして暇な時は、奥さんの店のお手伝いをさせてもらったり、いろんなことを体験してとても仲良くなった頃、お別れの時がやってきてしまい、とても残念でした。そしてまた、「一人で電車に乗って、次のホストファミリーの所へ行かなければならない」という不安にかられましたが、またもや今では後悔の嵐というわけです。

という訳で、無事に第2ホストに着いて、一番ショックだった事は、その家庭に身障者が2人もいたことです。ショックのあまり第1ホストの事が頭に浮かび、とても苦しかったです。そして、ポーランド人や、いろんな人の出入りする家、とても大きな農場、周りにはなにもなく本当に田舎でした。日本と、第1ホストと、第2ホストの差があまりにもあったので、しばらく悩んだ日もありました。私が行った時、ブルーベリーの収穫時期で忙しく、私も手伝いをしなければならないほど、とても忙しくて、家族の人ともなかなか話をする機会がなく、また悩みの種が増大しました。しかし、ブルーベリーの収穫が終わってみんなが落着いてきた頃、みんなとの会話もはずむようになり、毎日が楽しくなってきました。ポーランドの女の子と同室で暮らしていて、彼女は英語、私はドイツ語が話せない、ということで、辞書は欠かせません。そして、私の心の中で問題だと毎日考えていた、身障者との生活は、思ったより難かしいものではありませんでした。まず、奥さんが私に彼らの食事の世話をする機会を与えてくれました。そして、私もそれに挑戦しました。一人は身体上の障害で、脳の方に支障はなく、英語が聞きとれるため、英語で問いかけた

りすると「うん」と首を振って、とてもいい感じの子でした。もう一人は脳の障害のため、英語は通じませんが、とても、他人を好きで人なつっこいので、打ち解けるのに時間がかかりませんでした。それからは、今、私もこの時、この家族の一員に少しずつなれた様な気がします。

そして、第2家庭では、第1家庭の様にいろんな所へ行くことはできませんでしたが、とてもいい経験をしたと思います。それはもちろん、身障者との生活、ポーランド人との同室の暮らし、等、本当にためになったと思います。

これもすべて、ライオンズクラブの皆様、そして両親のお陰だと思って感謝しています。

本当に充実した夏休みでした。

冬期YE生受け入れ懇談会

第3R 新入会員研修会

とき　11月28日　午後1時

ところ　千葉市労働福祉会館

ＬＣのひろば

１００％ＭＪＦの快挙

市川東　ＬＣ

市川東ＬＣは10月31日25周年記念行事を行ったが時節柄諸事簡素を基本方針としたが、会員42名１００％メルビン・ジョーンズ・フェロー献金が発表された。

これは地区として本年度はじめての快挙である。

ＣＮ15周年式典を挙行

松戸中央ＬＣ

11月2日、１Ｒ・１Ｚ松戸中央ライオンズクラブ（会長Ｌ清水延圭）はＣＮ15周年記念式典を挙行。会場の柏市日本閣に３２０名のご来賓、矢田ガバナーをはじめキャビネット役員、ブラザークラブ、ライオンレディーなどお客様多数お集まり頂き、盛大かつ厳粛に式典が開催されました。

松戸中央ＬＣは、１９７７年11月2日に松戸ＬＣをスポンサーとして認証状伝達式を迎えて以来15年間に亙って、メンバーが一体となって数々のアクテビティーを達成し、優秀クラブ金賞をはじめ多数のアワードを獲得しております。

ＣＮ15周年記念事業として、青少年健全育成（特にＹＥ活動）を目的とした「青少年育成資金」（基金総額１千万円）を設立いたしました。

また、ガバナー方針に基づき「視力ファーストキャンペーン」にクラブとメンバーが力を合わせて、献金に協力いたしました。更に松戸市内の小中学校の児童生徒の協力による「江戸川に鮭を呼び戻そう」のキャンペーンを展開しています。

今期我がクラブは会長Ｌ清水延圭のスローガン『忘己利他』を掲げ、地域社会に密着した、ライオニズムに基づいた奉仕活動に真剣に取り組んでおります。15周年を契機として、今後も日に日に精進を重ね、クラブの一層の発展に努力して参りたいと存じます。

（クラブ幹事　Ｌ海老原道雄）

松戸まつりを盛り上げる

松戸ユーカリＬＣ

松戸市で市民に評判の高い「松戸まつり」に、10月4日、松戸ユーカリＬＣ（会長Ｌ長谷川守）も、メンバー39名が物品販売などの作業奉仕に参加し、行事の盛り上がりに一役買った。

このバザーに関連して、出品用いも掘りが前もって10月1日に行われたが、これにも

ＬＣのひろば

メンバー38名が作業奉仕した。

また松戸市が市民運動として定期的に実施している松戸市クリーンデー（10月25日）にも20名が参加した。

このように同クラブは地域住民と一体となっての活動を重要なＡＣＴとしており、まさに理論ではなく身体でライオニズムを実践している。

５才の誕生日

関宿ＬＣ

去る10月13日、１Ｒ・２Ｚの関宿ＬＣは柏市玉姫殿に於いてＣＮ５周年記念例会を開催した。

「何気なく、さりげなく、小さな奉仕を積み重ね、大きな奉仕をして行きたい所存です」との発表があった。

少年野球大会を開催

柏グリーンＬＣ

9月12日、柏グリーンＬＣ（会長Ｌ斉藤茂）では市内で少年野球大会を開催して一日気持のいい汗を流した。

これは青少年健全育成の一環として、友愛と親善を目的とし、少年野球の発展を願い、地域住民とのふれあいの場を広め、野球を通して子供たちが大きく成長することを願って企画したもの。

当日は好天に恵まれ、選手89名、指導者26名、父兄58名、総勢１７３名と盛会であった。

また10月13日には、柏グリーンＬＣ（会長Ｌ斉藤茂）では同市の心身障害児通園施設の十余二学園とおなじく肢体不自由児通園施設・柏育成園の園児、親たち、施設職員88名を招き、市内十余二の長本農園でともにいも掘りを行い、園児らを喜ばせた。

献眼推進パレード

船橋ＬＣ

去る10月8日ライオンズデーの事業として船橋ＬＣは社団法人アイセンターと共催、厚生省・船橋市社会福祉協議会・千葉県アイバンク協会の後援で献眼推進パレードを実施した。

現在眼の不自由な人は世界で４千万人、日本には30万７千人おり、角膜移植等によってこの中の20％は目が見える様になる。10月10日の眼の愛護デーを前に、広く市民に献眼登録を呼掛けるもので、目の不自由さを実際に体験して頂こうと言うのがパレードの目的で、午後1時30分船橋市役所前に約１００人の市民が集った。

パレードに先立って、社会福祉協議会つくしの会から盲

ＬＣのひろば

成人式を迎えた鎌ケ谷ＬＣ

鎌ケ谷ＬＣ

人誘導の仕方を指導していただき、参加者は2人1組となり、1人がアイマスクで眼を隠し、1人がこれを誘導して行進した。

パレードには2頭の盲導犬もご主人と共に参加、行進中に道行く人にＰＲパンフレットを配布したり、献眼登録の受付を行った。

船橋・船橋中央両ライオンズクラブのスポンサーにより、1972・5・28結成、同年11月19日第1692号の認証番号で伝達式を行なって以来20年の月日が流れ、10月11日（日）船橋のホテルサンガーデンららぽーとにてＣＮ20周年記念祝賀会を挙行いたしました。

地元鎌ケ谷市から皆川市長、平原市議会議長、石井・網野両県議会議員他市内各団体の代表者及びガバナー矢田常吉Ｌをはじめ地区役員、ブラザークラブのメンバー約200名に出席を賜わり、定刻10時45分開会し、約1時間の式典でした。

交通安全対策車

ついで12時から祝宴。アトラクションでは、テレビ等でおなじみの内海好江さんの司会で岡田美鈴（鈴々舎馬風夫人）さんの熱唱と松旭斉すみえさん一行のマジック、最後に内海好江さんが美空ひばりの「川の流れのように」を披露して午後2時すぎ終了いたしました。

査察広報車

教育相談車

この20周年記念祝賀会については、多数の方々にご協力をいただきありがとうございました。又、ご出席いただいたメンバー各位及び来賓の皆様方に厚く御礼申し上げます。今事共よろしくお願い申し上げます。ウィサーヴ。

記念事業は次とおり。

鎌ケ谷市市民生活課
交通安全対策車輌　贈呈

鎌ケ谷市消防本部
査察広報車　贈呈

鎌ケ谷市教育委員会
教育相談車　贈呈

青少年健全育成助成
1　ボーイスカウト・ガールスカウトに助成金贈呈
2　ジュニアリーダー助成
3　鎌ケ谷市体育協会助成
4　ＹＥ生派遣及び受入実施

教育助成
1　中学校への助成金贈呈

ＬＣのひろば

2　第13回中学生弁論大会実施
3　小・中学校音楽発表会助成
4　市民オーケストラ助成
社会福祉助成
1　在宅老人福祉への助成
2　視聴覚障害者福祉会15周年事業助成
3　歳末たすけあい募金協力
鎌ケ谷警察署
記念品贈呈
（ＰＲ情報委員長　Ｌ豊田朋二）

10周年と楠千年

船橋ポートＬＣ

「うみ・みどり・そして、こどもたち」を周年事業テーマとした船橋ポート・ライオンズクラブの10周年記念式典は11月1日、船橋文化ホールに於いてキャビネット役員20名。西方は広島県の呉ポート・ライオンズクラブ、北は北海道の津別ライオンズクラブ等34のブラザー・クラブ350のメンバー。船橋市長をはじめとする、来賓20名の御参集をいただき大盛況裡に閉会することができた。

周年事業のテーマは概ね、「うみ」は船橋の漁業を通して東京湾の四季を社会教育の視野で1年間の時間を費やして完成したビデオを市内小・中学校に150配布・贈呈。

「みどり」は中学校の校庭への記念植樹ということであるが、桜花にはまだはやい卒業の時期、巣立つ生徒に花がないのは寂しいのではということで、コブシと木蓮ならば紅白の祝いになるのではなかろうかとの知恵をかしていただいて植樹となった。来年のその時期が今から待ちどおしい。

「そしてこどもたち」は夏休みを利用して「船橋ジュニアー・オーケストラ」70名と北海道の津別町、網走に演奏旅行をし、交流をはかる。

何年あるいは何十年先におけるこのこどもたちの知的収穫に期待を委ねた、と報告された。

そして「楠千年さらに今年の若葉かな」矢田常吉ガバナーの人柄と申したらよいのでしょう、穏やかななかに力強さを感じさせる一句を取り入れられた祝辞にはメンバー一同深い感銘を受けて明日への奉仕を誓いあったのである。

「内に外に思いやりと行動そしてウィサーヴ」

八千代ＬＣ

国際化、情報化、高齢化の中にあり、今静かなる性病ブーム、大きく叫ばれている「エイズ問題」「陰に咲く本エ

イズ」はベストセラーになっている。「市民と共にエイズを語る」、ライオンズでPRすることも重要であろう。

9月の献血、10月の「身障者いも掘り大会」と今期も順調にアクトが進んでいる。「与える奉仕から育てる奉仕」を記してみよう。毎年のように身障者いも掘り大会は高橋重成Lの畑で、友情と相互理解の奉仕の中、友の美点を見守るL達により行動されている。1年の汗と努力の結晶のいもが子供達への愛のプレゼントへとつながれ、力強く感謝の言葉が代表者よりL会長へ送られる。立派な成人になってほしいと祈る。育てる奉仕、思いやりと行動そしてウィサーヴの内における12例である。

9月ベルリン→ワルシャワ→プラハ→ペーチ→バラトン湖畔→ブタペストと旅をした。東欧諸国にライオンズクラブが生まれて3年目の歳月が来ている。いずこの国の人々も月給1万円前後で2人の子供を平均的に育てている。それなりに物価は安いが生活は大変。特に経済の安定、政治の安定が切望されている。ワルシャワは「悲惨」の一語につきる。悲劇の国ポーランドの首都、5℃の冬を体験したせいもあるが、社会主義だった頃の方が全ての面で良かったとO夫人はなげく。YE学生が平成5年には2〜3名全て日本側の負担で来日される。外への育てる奉仕の12例である。

ハンガリー、ペーチの学園都市で市長を混え、ライオンズドクター2名、来日医学生とミーティングを試み、来日生が日本のPRに今後活躍する姿を感じた。そして彼の父の家を開放してもらった。旧ソ連式アパートの一室は誠に質素そのものであり、食もそれに準ずる。YE学生にとって来日は夢のまた夢である。しかしハンガリーは東欧では一段と政治、経済が安定しており、かなりの豊かさをバラトンのライオンズクラブとの交流会で感じとって来た。女性が27%を占めるハンガリーのライオンズクラブは300名、交流の価値は高い。アジアの血をもつ遊牧民。マジャール語が主流だが、ドイツ語・英語が知的階級には通じる。会員による、ピアノ・フルート音楽で迎えられ、自家製の食事、楽しい「心の奉仕」にめぐまれ帰って来た。来年夏も4〜5名のYE生がやって来る。「育てる奉仕」を外にもむけ思いやりと行動そしてウィサーヴで今期はつづく。

（秋葉琢磨）

第8回チャリティゴルフ大会を開催！

千葉ポートLC

去る10月12日房総カントリークラブ大上コースを借切って盛会裡に開催致しました。

プレー参加者173名、内

ＬＣのひろば

女性の参加者40名と年々華やかさを増して参りました。例年賞品の良さが評判を呼び、プレー券は即日完売の状況が続き、参加ご希望の方全員に行き渡らない有様で嬉しい悲鳴を上げています。なにせ参加者全員に賞品があり、優勝はサイパンペアーご招待を初め、沖縄ペアーご招待、カラーテレビ等など豪華賞品がずらりと並び、順位に関係なくビッグな賞品がもらえると言う、ちょっと他に例をみないチャリティーコンペ、もちろん参加賞は別途に用意してあります。賞品総額はざっと250万円、どうしてこんなチャリティーがやれるか？その秘訣はメンバー全員で、チャリティーの趣旨を理解して協賛して頂く企業あるいは個人の方々にお願いして賞品を集める事に有ります。不況が騒がれる昨今、今年も100社に近い方々の暖かいご理解とご協力を頂きました。こうして得た益金はタイ国学童の給食費の補助を初め、千葉ポートライオンズクラブのアクティビティ資金として有意義に活用させて頂きます。ご協力頂きました皆様へ紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

（会長　立石忠彦）

都川へ鯉の稚魚を放流

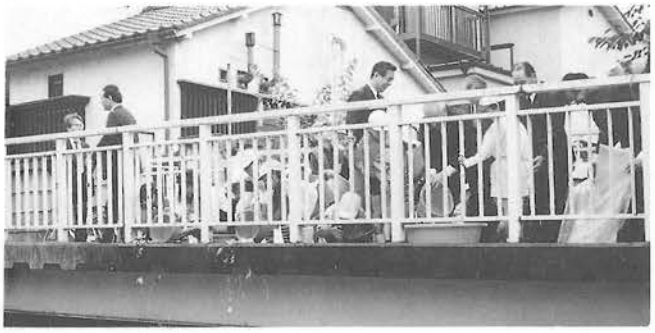
千葉エコーＬＣ

10月8日（木）ライオンズデーに、千葉エコーＬＣは市内・本町小学校とタイアップ、同校1年生60名と一緒に市内を流れる都川へ、鯉の稚魚1千匹を放流し、環境浄化運動に一役買った。

折柄、千葉市では10年がかりでの都川浄化計画「チャレンジ・ザ・都川・クリーンプラン」を実施中で、今年はその3年目に当たる。計画ではソフト、ハードとも生活排水対策に重点を置いており、とくに都川は昔から市民とともに生きてきた市のシンボル的存在であり、市民の環境浄化への意識高揚のための対象としてうってつけといったところ。

川へ橋の上から魚を放す、ちょうど児童たちには遊びの一つにもなり、理屈を言わなくても自然の営みを覚えることにつながる。

さらに千葉エコーＬＣ（会長Ｌ近藤栄一）では、この日用意したキャンペーン用鉛筆1200本を同小学校に寄付し、全校児童にもライオニズムをアピールした。



中学招待弁論大会を後援

千葉エコーＬＣ

穏やかな小春日和に恵まれた11月19日（木）、千葉市・市立白井中学校体育館で、白井中（滝藤功校長）ならびに同中学学区青少年育成委員会（中村哲二委員長）主催の千葉市内中学校招待弁論大会が、千葉エコーＬＣ後援により開催された。

メンバー中村哲二Ｌが同校々長時代、生徒たちの社会的視野を拡げる目的で始めたもので、以来、毎年開催され、今年で第28回目を数える。

市内53校ある中学校から今回参加したのは21校で、各校

LCのひろば

1名、主催の白井中を含め22名の生徒がそれぞれ独自のテーマで熱弁をふるった。

持時間5分、内容、言語、態度といった規準で中村哲二千葉エコーLC教育委員長、石田英夫元千葉市立都小学校々長、平山和男千葉市立源小学校々長の3審査委員の審査で、1位が「笑顔から……コミュニケーション」の演題で弁じた都賀中1年池田淳一君、「手話を通して」の更科中2年村越正直君が2位、「障害者の気持ちを考えて」の白井中2年嘉瀬聖子さんが3位となったが、いずれも総じて甲乙つけがたく、審査委員も審査に大分手間どり苦労したようだった。

22名の弁論は、このあと千葉エコーLCによって、講評とともに全編小冊子にまとめた上、千葉市教育委員会を介し、教材の一つとして市内全中学校へ必要部数を寄贈する手筈となっている。

県立盲学校児童のも掘り大会

四街道LC

10月秋晴れの一日を千葉県立千葉盲学校の生徒児童達を招き、いも掘り大会を開催した。後日淡路壽嘉校長をはじめ、各児童よりお礼状が送られて来た。

いも掘り招待について

晩秋の候貴職におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

先日はいも掘りにご招待いただきましてありがとうございました。

いもの形や大きさ、引っぱってみての重量感に子ども達は大変良い経験をしました。幼稚部の体験した様子のプリントを同封いたしましたが、いただいたいもを家庭に持ちかえって、家族と楽しい会話もかわしたようです。

今後とも本校にご支援ご援助の程よろしくお願い申し上げます。

また当日いも掘りに参加いただき、子供たちのお手伝いをしていただきました会員の皆様によろしくお伝え下さい。

末筆ですが貴クラブの益々のご発展をお祈り申し上げます。

千葉県立千葉盲学校

校長　淡路壽嘉

平成4年10月27日

いも掘り大会招待のお礼文

（盲学校生徒より点字で）

ライズクラブの皆さんへ

土の中にいもが入っていました。土をほりました。大き

ＬＣのひろば

ないもや、小さないもがありました。いもはこれからお料理してもらいます。
ありがとうございました。

2年　安藤さやか

ぼくはいもほりをしました。いろいろないもがありました。たとえばキュウリみたいなのと大根みたいなのがありました。最初はどんないもが出てくるのかと思っていました。いっぱい掘ったら、ありすぎて持つのが大変でした。

掘らしてくれてありがとうございました。

2年　若菜ひろよし

僕はいもを掘ったら楽しくてついいっぱい掘ってしまいました。僕はいもを掘る時ぐらぐらさせてひっぱりました。

僕はいもの入った袋、2袋もどうやって持とうか困りましたが、ライオンズクラブのおじさんがトラックで学校まで、運んでくれてホッとしました。

ライオンズクラブのおじさん、本当にありがとう。

2年　村田はじめ

おいもをたくさんありがとう。これからママとパパとおにいちゃんとぼくでたべます。

たくさんとれてうれしかったよ。

土山恭平

いもほり、たのしかったです。おっきいおいも、とれたよ。どうもありがとう。シャベルでほってったよ。かぞくでたべます。

木村　翔

大きいおいもがほれました。おもしろかったです。なかいおいもがたくさんとれました。ライオンズクラブのおじさんありがとうございました。

2年　はやしまさひろ

いもほりどうもありがとうございました。とてもおいしかったです。

らいねんも又やりたいです。

3年　えびはらはやと

いもうまい

もりうちまりこ

いもうまかったです。

ひでかず

大きいおいもをほりました。たのしかったです。またいきたいです。いいだまさる

25周年記念式典を行う

総武中央ＬＣ

第4リジョン第2ゾーン総武中央ライオンズクラブの25周年記念式典が晩秋の11月29日成田ウィンズホテルに於いて、来賓、地区内外クラブ、ライオネスクラブより350名のメンバーの参加のもと盛大に挙行されました。

1967年6月20日八日市場ライオンズクラブをスポンサーに平均年令29才と世界一若いメンバーで結成された当クラブですが、現在でも平均年令は40才台と言う若さを誇っております。この働きざかりのメンバーのすばらしさは式典でも充分発揮され、非常にスピーディにスマートに進行して行きました。又式典から祝宴への移行も円滑に行われ、古谷式典委員長の創意、工夫が随所に見られ、祝賀にかけつけたメンバーからも好感をもって迎えられた式典でした。

記念事業と致しましては視

ＬＣのひろば

力ファーストキャンペーン基金１００万円をはじめとして、その範囲は4町村と広範囲におよび、又、青少年健全育成から老人対策と幅広くアクティビティを行っております。　（土谷記）

総武中央ライオンズクラブの25周年記念事業は次の通り。

一　視力ファースト・キャンペーン（ＣＳＦ）

世界保健機構（ＷＨＯ）の統計によると現在世界には4千万人以上の盲人がいます。そして、その80％は医療・栄養等の欠乏により失明しています。この不幸な現状を打破しより多くの人々に光を与えようという運動がライオンズクラブ国際協会で進められています。

今までにもＬＣＩＦ（ライオンズクラブ国際基金）を通じ、世界の恵まれない人々の救済や災害復旧の為の奉仕を続けてまいりましたが、今回25周年記念事業として、特に盲人対策に的を絞りＣＳＦに基金を贈るものです。

一　視力ファースト・キャンペーンに基金　１００万円

一　ソーラー型屋外時計塔設置　2基（芝山町・蓮沼村）

一　小中学校へ図書券贈呈　14枚

一　桜並木苗木植樹　１００本（蓮沼　成田空港関連道路沿　全長６００ｍ）

一　小学校駅伝大会優勝旗　1旗（及記念対抗駅伝大会開催）

一　ゲートボール大会優勝旗　1旗（及記念ゲートボール大会開催）

一　保育園・幼稚園へ25周年記念クリスマスプレゼント贈呈　14園

一　献眼・献腎登録　メンバー49名全員登録

25周年記念事業総額　６８０万円

歳末助け合いチャリテーバザーなど実施。

多古ＬＣ

11月22日、23日に多古町コミュニティープラザで開催された、町のイベント。第1回いきいきフェスタＴＡＫＯ'92に協賛、視力ファーストキャンペーン、献眼、献腎登録、歳末助け合いチャリティーバザー、クラブ会員41名全員の協力を得て、物品を提供して頂き、2日間にわたりクラブ会員延63名の労力奉仕により、物品販売、２００８０７円売上げ。視力ファーストキャンペーンに１０００$献金。残金を町社会福祉協議会へ寄付。

また、2日間、クラブで作成の献眼、献腎のパンフレットを町民の皆様に配布啓蒙し、献眼登録25名、献腎登録10名、の皆様から登録を頂きました。

クラブとして今後、町の三大イベントとして継続参加し、地域住民にライオンズクラブの奉仕活動をＰＲ、クラブの認識を全町民に拡げていきたいと思います。

ＬＣのひろば

第14回チャリティゴルフ大会開催

木更津ＬＣ

9月22日当クラブ恒例事業の一環として「恵まれない心身障害児に愛の手を」をテーマに第14回チャリティゴルフ大会を上総富士ゴルフクラブで盛大に開催した。参加者284名を数え、なかでも女性の参加者が多く見られた。

晴天に恵まれ心地よい秋風に誘われ参加者全員ゴルフを満喫された。

4時半よりパーティー、和やかなムードのなか成績発表、表彰式が行なわれ、又主催者を代表して当クラブ会長L杉本より謝辞があり、又333C地区第5Rリジョンチャマン L島野光司より来賓の挨拶がされた。最後に大会委員長L鳥海より大会参加者に対し、ご健康とご繁栄ご家族の幸福を心から祈念して、三本締めで無事閉会した。

奉仕デーに献血、清掃を行う

木更津中央ＬＣ
木更津金鈴ＬＣ

10月8日の国際ライオンズデーには各クラブともそれぞれの活動がなされました。幸いにして当日は好天に恵まれ、献血、清掃等々一日汗を流しての奉仕デーでした。

愛の献血運動

君津ＬＣ

10月14日（木）君津市公民館において愛の献血を行った。

来場者　356名（内不適68名）

200cc献血者　175名

400cc献血者　96名

成分　献血者　16名

合計　83000cc

ＬＣのひろば

また、10月10日ライオンズの森の清掃にあわせて、１９８５年に君津市内メイン道路に設置した「交通安全広告板」の撤去を行った（撤去約１００ヶ所）。

（Ｌ南　千之）

ライオンズ奉仕デーはクリーン作戦

上総ＬＣ

５Ｒ２Ｚ上総ＬＣの環境保全委員会（委員長Ｌ神子貴晴）の今年のライオンズデーの奉仕活動は道路に散乱している空缶を収集することを中心とした清掃作業を行うことに決定した。

以前は学校、公園等の緑化中心活動も行ってきたが、こ数年道路、公園の清掃作業が定着してきた。

今年はダンプ街道として有名な国道４１０号線、千葉、鴨川線、久留里城周辺の公園の清掃作業を行った。あらかじめ君津市役所環境部に申請して許可を得た。日時もクラブメンバーの全員参加のできる10月３日（土）午後１時30分、上総公民館前に集合、３組に分れて懸命な収集作業、ダンプの交通の激しい中、安全を確めながらの作業、午後５時作業を終って集合、ゴミ収集袋に21袋、およそ３６０キロ、快よい汗をふきながら帰宅する頃は西の空が真赤にそまっていた。

建設省千葉国道事務所長の表彰を受ける

館山北ＬＣ

世界ライオンズ奉仕デーの一環として館山北ＬＣは毎年国道１２７号線のカーブミラーの清掃活動を継続し、本年で通算６回目となる。

平成４年度建設省の「道路愛護団体」として千葉国道事務所長より表彰されました。これも先輩会員より継続アク

ＬＣのひろば

トとして今日まで活動してきた賜です。

今後も奉仕の精神の向上にはげみ、一層の努力をしてゆくつもりです。

マスコミ関係者と懇話会

2RPR情報委員

ライオンズクラブの奉仕事業の中で献血、献眼、環境問題等々、一般市民の力を借りなければ達成出来ない事業が多々ある事はいうまでもない事です。

市民のパイプ役としてのマスコミ関係者とコミュニケーションを図り、理解して戴くために、去る10月28日（水）船橋パールプラザで、2リジョン内の5市町、役所の広報課及び記者クラブの方々とリジョン内クラブ会長、PR広報委員長、尾形地区PR情報委員長、鈴木利一RC、他2R役員43名が参加し、マスコミとの懇話会を開催いたしました。

プログラムに従い出席者の紹介、LCの目的、組織、沿革、奉仕事業の説明、名刺交換、クラブ会報の交換のあとに、パブリック・リレーションについて意見交換をしました。「LCは身内だけのPRのみでは」「LCは総体的にPRが下手」「奉仕事業に宣伝はどうか」等々、様々で活発な意見が交わされました。

この様な中、報道関係の方々へ「LCの奉仕活動事業を記事にして貰うためには、どの様にしたら良いか」の質問に対し、

1　環境問題等、現在世間で取り沙汰されている、タイムリーな話題の提供。

2　読者が興味をひく、社会的、公共性ある事業やイベント等の開催。但し自己宣伝的なものは駄目。

3　上記2を行うにあたっては事前に連絡。時には掲載のアピールも必要。

4　LCとの常日頃のコミュニケーションが大切。

当たり前の解答とは思いますが、上記の事に留意してPRの上手なクラブもあれば、下手なクラブもある様に思われました。こうした催しがこれからのクラブ活動に更に活かされる事を願い、今後年1回定例開催する事を検討課題として終りました。

（L・山中康誠）

4R会報編集研修会

RC・L関重雄主催による4R会報編集研修会が11月1日、地区PR情報委員長L尾形祇文を迎えて、第1・第2ZC、Z幹事、リジョン内15クラブより会報担当Lの参加のもと、佐原市内東京電力ホールに於いて開催された。

当日は各C会報の発行状況、編集内容等の問題点につ

き尾形委員長をアドバイザーとして意見交換を行った。

L尾形からは333C地区内の会報誌の発行状況、地区ニュースの編集について本年度の方針が述べられた。

最後に東庄LC、L石橋より地区PR研修セミナーの感想をユーモア溢れる口調での解説があり研修会は終了。この後地元の割烹「山田」でL尾形を囲み懇親会を催され、大いにクラブ間の親睦を深めた。

アイバンク協会7年の歩み

千葉県アイバンク協会発足以来積極的な活動を続けている協会も7年の月日が過ぎ、現在までに、200名にも及ぶ開眼者が喜びをかみしめて、アイバンクがすすめている角膜移植運動に感謝しております。

この度、協会から寄稿いただきましたものを掲載させていただきます。今後ともいっそうの御活躍を祈念いたします。

千葉県アイバンク協会について

1984年7月L秋場寛氏がライオンズクラブ333-C地区ガバナーに就任されるや「愛の心で価値ある奉仕」をスローガンに千葉県にもアイバンクの設立を提唱し、県衛生部医務課の御指導を頂き乍ら先進の群馬・栃木・茨城・山梨等の各アイバンクより資料を頂き、1985年4月1日千葉県知事より設立認可を交付され即日登記を完了し同年5月27日厚生大臣の眼球あっせん業の許可を受けて業務を開始いたしました。

設立に当り基金の募金、其の後の運営費についてと県下各ライオンズクラブ、ライオネスクラブの絶大な御協力により今日に至っております。

当初少数でありました献眼者も7年目の平成3年度には30名を数え、平成4年9月末に於ては105名になり角膜移植による開眼者も200名を越えるようになりました。

このことは協力医療機関の積極的な御協力によるものでありますが、秋場理事長を始め理事、評議員の役員各位の貢献によるものと思料いたします。

アイバンクの使命は視力障害者の視力回復と目の衛生思想の普及向上を図ることでありますが、献眼登録者の死亡時に際しその御遺志と御遺族の御理解御協力により献眼の尊い奉仕によって角膜移植を待機しておられる目の不自由な方々に愛の光を提供することであります。現在の医学の進歩と相俟ってアイバンク事業の活動状況等についてのPRに努め、理解を深めてゆくことが事務局の責務と考えておりますので今後共御指導と運営に対する御意見御提言を積極的にお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

（事務局　吉野正三）

ＬＣのひろば

ぬくもりのあかり

船橋ＬＣ

一　閉された闇の中で　灯された一本のあかり　乏しいわずかな光を求めて　歩みつづける奉仕への呼びかけ　天は花を与え　地は寂然して動かず　春を招く　ぬくもりのあかり

（献眼登録アクト）

一　傷つきさまよう逆境の中で　灯された一本のあかり　歩み続ける生活の中で　隣人の愛を信じてひたすらに奉仕に汗　する　山に若葉映え　海の鳥が舞う　夏を伝えるぬくもりのあかり

（身障者慰問アクト）

一　疲れた病葉が舞う窓辺に　灯された　一本のあかり、喜びの朝を信じて闘い　つづけるやせた頬に　風は彩りを添え　光はやすらぎをはこぶ　秋に想う　ぬくもりのあかり

（糖尿病教育アクト）

一　楽しい夕餉の食卓に　灯された一本の　あかり　友愛の語いと　平和への希い　の中で　ハラハラと時雨が通り　北風　が梢を揺がす　緑豊かな潤いを希い　冬に燃えるぬくもりのあかり

（ＹＥ生交換アクト）

一　我々は知性を高め　友愛と相互理解を　合言葉に　今　時到り　今　時を超える集まり散じ人は変われど　灯し続けたぬくもりのあかり　永遠に絶やすことなく燃し続けることに誇りと勇気を　拓かれる新しき世紀に　力の限りWe Serve！

（Ｌ小西宗仁）

ミニコミ紙に相乗りで

鎌ケ谷ＬＣ（会長Ｌ池田高吉）出は、クラブのＰＲ活動の手段の一つ賭して、地域の商工業が隔月発行しているミニコミ紙「鎌ケ谷ショッピング」Ａ５判４ページの３分の１ページを買取、折々のクラブ活動状況やメンバーの紹介、消息など、ＰＲに利用している。

お知らせ

おめでとうございます。新クラブ結成

●下総ライオンズクラブ（Ｃ地区96番目）
12月６日結成（メンバー31名）スポンサー柏ＬＣ

●柏さくらライオンズクラブ（Ｃ地区97番目）
12月10日結成（メンバー44名）スポンサー柏ＬＣ

★11月末会員数

ＬＣ	95クラブ	4420名
ＬＳ	13クラブ	283名
ＬＥＯ	6クラブ	84名

★第12回千葉県高等学校弁論大会

とき　1月23日　9時～15時30分
ところ　千葉県文化会館小ホール

★物故会員

佐倉ＬＣ故Ｌ中台利夫（11月５日）
習志野ＬＣ故Ｌ田野憲縦（月７日）

賀春

各リジョン情報委員のごあいさつ

1R　L篠原委員

2R　L山中委員

3R　L高橋委員

4R　L土谷委員

5R　L鳥飼委員

6R　L相澤委員

7R　L英委員

年頭のごあいさつ

1R　PR情報委員　L篠原一彦

年頭にあたり謹しんで新年のお喜びを申し上げます。早いもので、キャビネット1RPR情報委員に任命を受けまして早六ヶ月がすぎました。お蔭様にて活動期間の前期を無事にすごす事が出来ました。その間地区ニュースを第三号まで発行する協力が出来ましたのも、ひとえに各ライオンズクラブの皆様方の幅広い地域社会に密着した、奉仕活動の実績を深く敬意を表する次第でございます。

昨年11月26日より、クアランプールの東洋東南アジアフォーラムに、浦安ライオンズクラブ総勢10名にて参加致しました国際会長並びに矢田ガバナーともどもご歓談をさせて頂き友情を深め、さらに333C地区の一部をPRさせて頂きました。至情に友誼ある時間をすごす事が出来ました。今年度の後半は、21世紀に向かって発展する国際都市千葉600万人の県民の皆様方に、ライオンズクラブのメンバー一同の幅広い知性と行動力、社会経験豊富の中から、実のある奉仕の大きな輪を活発にPRをして行く所存でございます。本年も変わらざるご指導、ご助言等賜ります様お願い申し上げ、皆様のご健康とご多幸を心から祈念いたします。

折り返し

2R　PR情報委員　L山中康誠

PR情報委員を仰せつかり、はやくも半年が過ぎました。顧りみれば第一回目のキャビネット会議へ緊張して出席した事から始まりリジョン内クラブの例会訪問、周年クラブの式典参加、地区PRセミナー、2Rマスコミ懇話会の開催等々、鈴木RC他、役員に支えられ和気合いあいと楽しく無事、勉強させて貰った半年でした。特に思い出に残る事は、船橋ポートLCの十周年記念事業、北海道津別町へジュニアオーケストラの派遣に同行し、アクトのスケールの大きさと共に涼しい筈の北海道がやけに暑かった事、そして地区PR情報委員会終了後、鴨川カントリーでまぐれのイーグルを出した事です。日頃のスコアーはケイサツダイヤルか、ひどい時は消防署。尾形委員長からも祝福され、我ながらビックリ感激した次第です。ちょうど折返し、今年も御指導御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

活動することで学ぶ1年

3R　PR情報委員　L高橋聖

おめでとうございます。

元旦がおめでたいのは、365日、真白な毎日が待っているからだ。その毎日を、どんな色に染めていくのかは自分次第なのだと、ある先輩から聞き

ました。

私は、「活動することで学ぶ1年」にしたいと思います。前半は今の仕事で、後半は自分のクラブ内の仕事で、できる限りの努力をすることで、ライオニズムの何たるかを、少しずつでも自分のものにしていきたいと望んでいます。毎日をいい色に染めて。

個人としては、妻と共に昨年11月達成したウォーク1万キロ（写真）の記録を更に伸ばしたい、特に県北・県外の未知の地をテクテクと、せめて3千キロは歩きたいと思っています。歩くことには、いろいろな夢がありますから。

今年もよろしくお願いします。

あっという間の半年

4R　PR情報委員　L土谷勝男

第4リジョンPR情報委員のL土谷です。皆様、新しい年をすこやかにお迎えになったことと存じます。早いもので PR情報委員を任命されて以来あっと云う間に半年間が経過しました。この間リジョンチェアマンの公式訪問にリジョン内15クラブを同行させていただき、各クラブの例会運営を直接拝見出来ましたことは色々な面で大変勉強になりました。と共にメンバー各位との親交を深めることが出来、有意義なクラブ訪問でもありました。またリジョン事務局を兼ねている関係でリジョン運営にも参画することが出来、関リジョンチェアマンには感謝している次第です。欲を云えば後期にはもう少し時間を上手に使わせてもらい本業のPR情報活動の方に力を入れて行きたいと思っております。

新年を迎えて！

5R　PR情報委員　L鳥飼友季夫

新たな気持ちで任期の折り返し点を迎える事が出来ました。これも5R各クラブのPR委員の方々の御協力の御蔭です。

地区ガバナー公式訪問合同例会、懇親会に於いて、PR委員の活躍により、ポラロイド写真撮影して、売上金を5R青少年健全育成基金に寄附しました。

ガバナー諮問委員会におきましては、PR情報委員研修会を開いて、連帯感を持ってクラブ活動等の情報を集め合っております。

後半には君津L、C、木更津金鈴L、C、両クラブの25周年記念式典が控えております。

関係役員の方々の御指導を頂き、5Rが隆盛に精進します様、お手伝いさせて頂きます。今後共よろしくお願いします。

京都鴨川LC30周年式典に参加して

6R　PR情報委員　L相澤公二

私の所属する鴨川LCは同じ名前のLCということで京都鴨川LCと姉妹提携を結んでいることもあり、30周年の式典に参列いたしました。

100名を超える大きなクラブでありながら固い結束のもとに式典を盛り上げている様子や洗練されたすばらしい式典の演出、さらに2000万円のアクト等々ただ敬服するばかりでした。

特に印象に残りましたのは、将来役立つであろうというプラス指向のアクティビティーのあり方でした。眼前の問題解決に加え、将来を見すえたビジョンに立つ活動にあらためて考えさせられました。

変転極りない現在の社会情勢の中で、新年を迎えるに当りより広い視野に立った活動をすべく考えております。

意義ある年に

7R　PR情報委員　L英光雄

新年おめでとうございます。

本年もまた皆様にとってよりよき歳になりますようお祈りいたします。さて本年は地区年次大会、複合地区年次大会が開催される意義のある年でもございます。私共PR情報委員は尚一層気持を強くひき締めてPR情報委員長を全面的にサポート推進して行くことが使命と考えられます。

また世の変転の激しい昨今新しい現象が生れ、これに対応するために私共は常に研さんすることが必要になってまいりました。それゆえに本年は自己啓発を目標に頑張る所存でございますので本年も宜しくご指導下さいますようお願い申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

ライオンズクラブ国際協会
３３３複合地区

第２回ガバナー協議会・委員長合同会議議事録

１９９２年１１月１３日
於：上野静養軒

１９９２年１１月１３日（金）上野・精養軒において開催されたライオンズクラブ国際協会３３３複合地区、１９９２～１９９３年度第２回ガバナー協議会・委員長合同会議の議事の結果をご報告します。

なお当日の出席者および挨拶、あるいは各委員長等の報告、または意見等は概略ガバナー協議会・委員長合同会議資料に掲載されている通りであります。同資料をご参照下さい。

１９９２年１１月１４日

ライオンズクラブ国際協会
３３３複合地区ガバナー協議会
議長　Ｌ矢田常吉

議長提出議案と決議

１．国際理事の推薦について
（決　議）１９９３～９５年度日本から選出される国際理事について国際理事候補者推薦委員会から推薦のあったＬ．名越勉を推薦することとし、年次大会に提案する。

２．第３９回年次大会について
（決　議）開催日時、場所、年次大会議事規則、年次大会組織表、年次大会運営構成表、年次大会日程表、年次大会予算、大会登録料、前夜祭等について提案通り了承。

３．第１２回アイバンクシンポジューム開催について
（決　議）複合地区献眼推進委員会委員長連絡会議より申し出のあった第１２回（１９９３～９４年度）アイバンクシンポジュームを当複合地区で開催することを了承。

４．ライオネスクラブ会則そのほか制定について
（決　議）提案通り了承

５．世界青年会議剰余金処理について
（決　議）返金のあった剰余金44,097円は緊急援助資金会計へ繰入れる。

６．複合地区事務局またはＹＥ事務局固定化の件
（決　議）ＹＥ事務局固定化の必要性は認められるので、例えば成田空港に近いＣ地区キャビネット事務局に併設するというような方法で今後前向き具体的に検討する。

７．地区ガバナー予定者研修に関する件
（決議）１９９３年４月開催する。

第２回キャビネット会議議事録

１９９２年１１月２１日千葉県労働者福祉センターにおいて開催されたライオンズクラブ国際協会３３３－Ｃ地区１９９２～１９９３年度第２回キャビネット会議の議事の結果をご報告します。

なお当日の出席者および挨拶、あるいは各委員長等の報告、または意見等は概略キャビネット会議資料に掲載されている通りであります。同資料をご参照下さい。

１９９２年１１月２２日

ライオンズクラブ国際協会

３３３－Ｃ地区

ガバナーＬ矢田常吉

ガバナー提出議案

第１号議案　次年度ガバナー候補者の件

３３３－Ｃ地区の次年度ガバナー候補者として、地区全７リジョン委員会より推薦書の提出がありました現地区ルテナントガバナーＬ松丸善次郎（下総中山ＬＣ所属）を推薦したく、提案します。

［決議］提案の通り承認可決。

第２号議案　次年度ルテナントガバナー候補者推薦の件

３３３－Ｃ地区の次年度ルテナントガバナーとして、地区全７リジョン委員会より推薦書の提出がありましたＬ江畑耕作（旭ＬＣ所属）を推薦したく、提案します。

［決議］提案の通り承認可決。

第３号議案　年次大会議事規則等承認の件

３３３－Ｃ地区年次大会議事規則予算案、第３９回年次大会議事運営構成表、運営構成表、決議委員会（フォーラム）担当委員を別紙の通り提案します。

［決議］提案の通り承認可決。

第４号議案　雲仙災害義捐金送金の件

雲仙災害義捐金として、昨年度地区内クラブからキャビネット会計へ振込まれた金額￥4,957,634円のうち￥2,000,000円は既に送金済であるが残金￥2,957,634円は、現在地区緊急援助資金会計に組込まれて保管されている。この金額を現地（３３７複合地区被災地区ライオンズクラブ合同災害委員会）へ送金することとしたい。

［決議］提案通り承認可決。

ＲＣ提出議案

３Ｒ・ＲＣＬ高品和夫提出議案

議案リジョン分割について

当３リジョンは、クラブ数が１８クラブ、ライオネスクラブが２クラブあり、クラブ数も多く、また、クラブの所在地も極めて広範囲に分布しており、日頃リジョン運営に支障を来しております。去る１０月１９日のリジョン会議においてリジョン運営の円滑を期するため、現１ゾーン４ゾーンを一単位のリジョンとし２ゾーン、３ゾーンを一単位のリジョンに分割する案を上程しましたる所、全員一致で当案について賛成を得ましたので、ここにリジョン分割を申請いたします。宜しくお取り計らい下さる様お願いいたします。

［決議］提案通り承認可決。

具体的には現在の３Ｒ－２Ｚ・３Ｚを３Ｒ－１Ｚ・２Ｚとし、現在の３Ｒ－１Ｚ・４Ｚを８Ｒ－１Ｚ・２Ｚとし来年度７月１日よりスタートする。

委員長提出議案

視力ファースト・献眼・献血・献腎推進委員長提出議案

第１号議案　アイバンク・アクティビティの件

財団法人千葉県アイバンク協会に本年度も各クラブの自主的な判断により、献眼登録及び助成金をアクティビティするように勧奨して頂きたい。

第２号議案　献腎呼び掛けについて

千葉県ヘルス財団の献腎推進運動への協力として、地区内メンバーに対し献腎登録を勧奨して頂きたい。

第３号議案献血推進と献血推進研究会開催について

献血アクティビティをクラブとして推進せられたい。なお、地区献血推進研究会を明年２月開催の予定。この研究会を今後地区として継続実施されることを希望する。

［決議］第１号議案，第２号議案，第３号議案とも提案通り承認可決。

第２回ガバナー協議会・委員長合同会議次第

司会　管理委員長　　Ｌ．鈴木脩

● ガバナー会議（１３：００～１４：２０）

（１）開会		
（２）議長挨拶	ガバナー協議会議長	Ｌ矢田常吉
（３）ご挨拶	元国際理事	Ｌ相澤春吉
（４）ご挨拶	前ガバナー協議会議長	Ｌ桧山道
（５）地区ガバナー挨拶及び地区現況報告	Ａ地区ガバナー	Ｌ松原進
	Ｂ地区ガバナー	Ｌ奥田俊亮
	Ｃ地区ガバナー	Ｌ矢田常吉
（６）議長提出議案	ガバナー協議会議長	Ｌ矢田常吉
	休　憩	

● 会議（１４：３０～１６：００）

（１）各委員会報告	各委員長	
（２）その他		
（３）閉会		

● 懇談会（１６：１０～１７：３０）　司会　管理委員　　Ｌ森野銀一郎

（１）開会挨拶
（２）乾杯
（３）ライオンズロァー
（４）閉会挨拶

３３３－Ａ地区現状報告

ガバナー　　Ｌ松原進
キャビネット幹事Ｌ木村龍郎

● クラブ数及び会員について

年　月　日	クラブ数	会員数
１９９２年７月　１日	１１７	６，６６４
１９９２年９月３０日	１１７	６，７１１
増　減	０	＋４７

● クラブ活動状況について（１９９２年７月１日～１９９２年９月３０日の集計）

（１）金銭ＡＴＣ …	９９３件	６４，５９５，５３２円	一人当り	９，６２５円
（２）労力ＡＴＣ …	４７０件	３０，１５２．８時間	一人当り	４．５時間
（３）献血ＡＴＣ …	２２，９２４人	６，２１２，７００ＣＣ	一人当り	２７１ＣＣ
（４）検眼登録者数…	７５４名	（内会員	９０名・その他	６６４名）
（５）検眼者 …	７名	（内会員	２名・その他	５名）
（６）献腎登録者数…	３３名	（内会員	１５名・その他	１９名）

● 第３９回　３３３－Ａ地区年次大会について

（１）月日　　１９９３年５月１４日（金）前夜祭
　　１９９３年５月１５日（土）年次大会
（２）場所　　前夜祭　…岬館
　　年次大会…柏崎市市民会館
　　晩餐会　…潮風公園（屋外）

３３３－Ｂ地区現況報告

ガバナー　　奥田俊亮
キャビネット幹事　余語靖夫

● クラブ会員数について

年　月　日	クラブ数	会員数
１９９２年７月　１日	１３２	６３６８
１９９２年９月３０日	１３５	６３８８
増　減	＋２	＋２０

● クラブ活動状況について（１９９２年７月１日～１９９２年９月３０日の集計）
（１）金銭ＡＴＣ　９８３件　９４，４８１，２３６円　一人当り　１４，７９０円
（２）労力ＡＴＣ　７６２件　６５，９２３時間　一人当り　１０．３２時間
（３）献血ＡＴＣ　１２，４３４人　３，１６６，４００ＣＣ　一人当り　４９５．６８ＣＣ
＊成分献血　７２６人
（４）献眼登録者　３０４人
（５）献眼者　１２人
（６）献腎登録者　１９９人

● ＬＣＩＦ（視力ファースト）について（１９９２年９月３０日現在）
（１）ＭＪＦ献金　８４名　１０，９１８，０００円
（２）１０ドル献金　６クラブ　３８１，７５２円

● 第３９回３３３－Ｂ地区年次大会について
（１）日時　１９９３年５月１６日（日）
（２）場所　水戸市・茨城県民文化センター

３３３－Ｃ地区現況報告

地区ガバナー　Ｌ矢田常吉
キャビネット幹事　Ｌ森野銀一郎

● クラブ数及び会員数について

年　月　日	クラブ数	会員数
１９９２年７月　１日	９５	４，３８１
１９９２年９月３０日	９５	４，３７０
増　減	±０	－１１

● クラブ活動状況について（１９９２年７月１日～１９９２年９月３０日の集計）
（１）金銭ＡＴＣ…７６７件　１０５，９９３，１９２円　１人当り　２４，２５５円
（２）労力ＡＴＣ…５６０件　５１，３０３時間　１人当り　１２．００時間
（３）献血ＡＴＣ…　６４件　１，５２８，４４０ＣＣ　１人当り　３５０ＣＣ
（内成分献血人数　３５８人）
（４）献眼登録者…５１名　（内会員　０名）
（５）献眼者　…　３名　（内会員　０名千葉県アイバンク協会の報告による）
（６）献腎登録者…３５名　（内会員　０名）
（７）ＬＣＩＦ　…ＭＪＦ　８１名　１０，６３４，０００円
その他の献金　４２５，７８０円

● ＬＣＩＦについて
国際協会ならびに国際財団プログラムを尊重し、ＣＳＦへ協力のため
（１）メンバー１人当たり＄１０以上の献金
（２）１クラブ＄１，５００献金（「失明と闘うライオンズ」バナーパッチ・アワード）
（３）メンバー１０人につき１名のＭＪＦ献金の協力を呼びかけている。（何れもＣＳＦ指定）

● ３３３－Ｃ地区第３９回年次大会について
（１）日時　：１９９３年４月２５日（日）
（２）場所　：千葉ポートアリーナ
（３）前夜祭：１９９３年４月２４日（土）於．千葉グランドホテル

MJF名簿

（　）内は回数

1992年7月～11月末MRより

●市川東

軍司育雄　斎藤慎司(2)　笹本暸(3)　伊藤一郎　竹内十記男　寺井一郎　山岡景恭　三橋英作　竹内弥生　石神元州　金子利夫　小出善之輔　松丸泰介(2)　吉永秀年　田村統司　藤田昌稔　立石秀治(2)　東谷　満　田邉誠二(3)　奥寺瑞政　米昭八郎　千野宏　林一公(2)　中沢弘充　甲田忠義　森口昌彦　岸邦信　高木正平　藤嶋庄平　浅井和彦　新井敏夫　木下好春　遠藤幸秀　藤井勇　伊藤三郎　森博　中村勝幸　阿久津仁　江口清　小河原雪子(2)　下村栄喜　土本勝信

●市川北

小泉正雄　秋元三男　和泉匡英

●浦安

宇田川　彰(2)　宇田川喜作(2)　亀井松夫(2)　宇田川隆(3)　内田千尋(2)　古河守男(2)　岡崎盛夫(3)　篠原一彦(3)　醍醐善三郎(3)　熊川秀和(3)　平林清重(2)　山崎次雄(3)　鹿野新一郎(2)　鈴木正昭(3)　西野　茂(6)　丸茂陽一(2)

●浦安シーサイド

大木由紀夫　大須賀稔　坂田敏雄(3)　古賀孝　穂谷一郎　長谷川中　宮崎英一　森茂次郎

●松戸

渡辺弥一郎(3)

●松戸中央

安積潤　厚地敬之(2)　新井明男　内田勝治(2)　板橋正夫　磯部敬一　荒巻猛　小白高司佐藤利之　清水延圭(3)　和田康男(2)

●松戸東

紺野淳志(2)　鈴木正家　箕輪信治　駿高敏之　小暮利夫(2)　小暮勝正(3)

●野田

中村　正(4)　佐藤聖治　吉岡康之　田中成章(2)　吉沢武(2)　高木次雄　森久中山敏夫

●松戸ユーカリ

黒沢秋男　大橋功　長谷川守(2)

●関宿

相澤清(4)　鈴木壽三夫　後藤祐亮(4)　鈴木秀男(2)

●柏

山田三郎　貝塚正己　仙田秀一　芳野幸男　岡田貞一(5)　泉佳秀

●我孫子

飯田和行

●柏中央

金子秀雄(2)　高津三平(4)　根本静男(4)　富沢偉人(2)　田口恵一(2)　進藤良隆(3)　小笹茂　佐藤隆久　加藤芳雄(3)　佐藤利(2)　伊藤博(2)　小杉和久(2)　増田一仁(3)　鈴木正和　榊原徹(2)　池田健次郎(3)　上原冨美夫(4)　高田直寛(4)

●柏グリーン

斎藤茂　近藤範孝　渡辺晋　上原政隆　桜田義孝　林泉(2)　山口忠夫

●印西

斎藤富雄　須藤幸雄　青野正男　大野克己　柴崎達夫(2)

●柏オーク

湯沢正次　村岡孝治　大沢一男(2)　窪田和典(2)　池田良一　小倉祐三(2)　吉野義定(2)　吉田峰雄(2)

●船橋中央

太田直見(2)　矢橋知巳(5)　行川金乃丞(4)　太田勇次　黒田治郎　鈴木利一(4)　津野生夫　高橋章(2)　松山典夫(2)　高橋芳夫(2)　鈴木利一(5)　田中清衛　高橋章(3)　行川金之丞(5)　松山典夫(3)　遠藤幸四郎　中良一　塩田徹　千田好明

●鎌ケ谷

池田孝吉　伊藤秀継　永井寛　塙広

●船橋ポート

高橋剛　藤沢茂雄　渡辺賢　土井幸四郎(2)　根岸賢司　下川肇　鈴木一二　徳田衛

●習志野

吉田政勝(12)

●船橋東

渥美雅康　石井英雄(5)　及川雅賀　近藤幸治　近藤毅　佐々木光男(2)　実川洋一(4)　林進(3)　谷内良弘(2)　名取駿(2)　矢野敏司

●船橋京葉

古谷祥一　古山典勇(2)　金子成康　金子和夫

●船橋北

鈴木晃秀(5)　宮澤正則　江口信雄　江田健治

●白井

江田健治

●成田

飯塚洋　山田政吉　石橋行与　木内喜右衛門　伊藤欽一郎　飯塚茂男　堀越力男　伊藤栄二

●千葉

榎智光(3)　清水義雄　中村

彰　岡野正義(2)　日暮英勝

●千葉中央

矢田常吉(2)　鈴木脩　吉田道　三上　修　高山照襄(4)　小川弘(2)

●千葉ポート

小川重二(2)　松井道男　中村純一　冨田稔

●千葉幕張メッセ

石橋凱夫　飯島宏治　川崎敏夫

●市原

吉田紀雄　高津四郎　美濃輪淳

●千葉エコー

中村喜之助(2)　近藤栄一　竹内昌夫　新貝孝逸(2)　池田繁香(2)

●市原南

高品和夫

●千葉京葉

御園生隆　西沢貫誠　武本吉浩　井上卿一

●四街道

金杉理　楠岡巌(2)　田中誠治　及川慎一

●佐原

平山真佐雄(2)　篠原邦夫　長島彪(5)　塚本潔　高木善一郎(2)　久保木正道(2)　関重雄(2)　石橋直(7)　藤崎武司　小林春吉(3)　佐倉栄爾(2)　君和田文雄　高橋脩

●東庄

青野虎二　斉藤幸男　関亮三

●銚子中央

山口彦太郎　高津四郎　伊藤平八郎　橋口一夫(6)

●旭

鈴木逸三　加瀬俊雄　吉田研二　門脇瑛太郎　大川泰　平山暁　斉藤靖幸　宮川昴　伊藤彰　江畑耕作(3)

●多古

平山昭二　押田隆雄　平山広　林一　鬼頭薫(2)　鴨田光雄　椿誠　金子武雄　石井敏夫　佐久間義徳　富所勝善

●君津

保科嘉彦(5)　松本岩男　濱名敏功　竹内啓　宮崎勝治　正木守

●館山

飯倉守　今井敏夫　宮崎勝治　正木守　平井勇(2)　御子神裕(2)　滝口喜雄　清川恒　遊佐頌三　小谷有仁

●館山中央

中村新

●大網白里

1R2Z小計　21

●柏　1　山田務

●我孫子

●柏中央　1　若月保栄

●柏グリーン　3　坂本正　高田哲夫　小沼敏雄

●印西　3　石橋博　千葉井敏昭　杉田慶一

●柏オーク　3　村岡孝治　湯澤正次　高橋稔

●柏さくら　46　井上広里　五味広行　丸　善治　磯辺松雄　国府谷愛胤　三室健一　上田裕　佐藤雅友　森田光治　上野益弘　酒井尋明　山口春雄　浦山昇　新藤一壽　山本忍　大井美津雄　菅野典子　渡部勉　小川高昭　染谷忠重　小倉勝雄　滝沢勝治　岡田眞知子　谷津新三郎　恩田公夫　寺林幹雄　恩田貞夫　中村孝弘　恩田友二　中山昭太郎　加賀順一　永井義一　加藤明　西尾秀樹　金子誠

●松戸ユーカリ

●関宿　1　岡野耕一

●松戸南　6　根本一男　谷田光　中山一郎　益田正勝　畑中正一　山下博

1R2Z小計　21

●柏　1　山田務

●我孫子

●柏中央　1　若月保栄

●柏グリーン　3　坂本正　高田哲夫　小沼敏雄

●印西　3　石橋博　千葉井敏昭　杉田慶一

●柏オーク　3　村岡孝治　湯澤正次　高橋稔

●柏さくら　46　井上広里　五味広行　丸　善治　磯辺松雄　国府谷愛胤　三室健一　上田裕　佐藤雅友　森田光治　上野益弘　酒井尋明　山口春雄　浦山昇　新藤一壽　山本忍　大井美津雄　菅野典子　渡部勉　小川高昭　染谷忠重　小倉勝雄　滝沢勝治　岡田眞知子　谷津新三郎　恩田公夫　寺林幹雄　恩田貞夫　中村孝弘　恩田友二　中山昭太郎　加賀順一　永井義一　加藤明　西尾秀樹　金子誠

新入会員名簿

クラブ名のあとの数字は新入会員数

●市川　1　江黒輝夫

●市川東

●下総中山

●浦安　2　宮沢富一　後藤六男

●行徳　3　星英世　斎藤智　青島純一

●市川北　1　富川幹夫

●浦安シーサイド　2　篠原歳雄　宮崎英一　三村和弘　鈴木好文　若

1R1Z小計　9

●松戸　2　宗像政宏　船橋清春

●流山　1　上原和男

●松戸中央

●松戸東　3　橋本清　米倉久三　皆川栄一

●野田　8　長谷川健登　大平潤一朗　川村伸輔　小林利生　風見吉男　池田修　青川　孝　中村　茂

司　平井貢　金谷四朗
平野功　鏑木博史　藤井
美昭　河上直樹　増田良
英　木村英俊　松長康英
藤邨昭男　松本隆一郎
1R3Z小計　57
●船橋　2　荒川秀範　高
松成一
●船橋中央　2　橋本忠雄
興松章夫
●鎌ケ谷　1　仁平信夫
●沼南　2　佐藤毅　染谷
秀夫
●船橋ポート　3　大野博
見　津田勝博　武山秀正
2R1Z小計　10
●習志野　2　金坂勝　菱
健之助
●八千代　2　島田信廣
根本栄正
●船橋東　1　丹好勝
●船橋京葉　1　本間章
●船橋北　10　村上宏貴
中村貞良　渡辺信夫　野崎
正一　新宮正邦　大野優
佐藤眞　玉井勝幸　丸本祥
夫　岩本忠
●習志野中央
●八千代東
●白井　10　江口寛通　樋

口昌吾　寺田稔　都築恒雄
伊藤一義　伊藤勝　竹内
昌彦
西本邦男　田中成治　鶴ケ
崎佐一
2R2Z小計　26
●成田
●酒々井
●成田グリーン
●成田平成
●富里　5　吉田正実　飯
島政広　高橋晋　諏訪憲治
伊藤隆雄
●下総　36　青山貞夫　澤
田正　青柳義郎　椎名清
石橋成　椎名淑夫　飯島市
郎　鈴木文彦　岩舘忠雄
菅澤秀忠
岩本良雄　高橋正　岩立和
巳　椿貞一　円城寺良一
椿正一　大野忠次　宮澤忠
男　木村文夫　藤崎明　木
川義之　藤原幹生　小笹成
一郎　藤崎治男　小坂忠男
堀井啓　小堀伸一　宮嘉
男　桜井総一　吉江浄善
桜井弘一
3R1Z小計　41
●千葉　4　金杉豊　布施
裕巳　室岡旭　山崎裕

●千葉中央　2　瀬古雅弘
松本秋雄
●千葉若潮
●千葉ポート　2　今井喜
一　新堀文男
●千葉幕張メッセ　2　相
葉勝文　星博
3R2Z小計　10
●市原　5　山本正男　池
田利男　牧野一夫　香取昭
男　桐越正成
●千葉エコー　3　磯部克
巳　山本清貴　金子忠雄
●市原南　3　小林広美
山内謙二　時澤延佶
●千葉京葉　3　福田一彦
小澤敬史　桧佐興利
3R3Z小計　11
●佐倉　2　市原淑光　恩
田裕之
●四街道
●八街　4　浅見邦男　綿
貫幹夫　田辺照夫　宮原勇
郎
●八街グリーン　5　高橋
光子　円城寺真知子　加々
井直三　高梨裕子　原口富
美子
3R4Z小計　11
●銚子　2　椎名隆　高野

豊人
●佐原　2　伊藤恭之　鹿
倉浩二
●東庄　2　井上俊子　宮
内義雄
●神崎
●大栄　4　根藤正昭　高
柳秀雄　葛生輝男　藤崎克
巳
●栗源
●銚子中央　4　岩淵睦夫
宇野澤徳次郎　梅田夏吉
高橋俊夫
4R1Z小計　14
●八日市場
●旭　2　川口靖夫　小崎
照雄
●総武中央
●飯岡　6　高埜一衛　鈴
木峰雄　石井明　平野陽一
滑川清太郎　浪川勝男
●多古
●千潟　1　奈良雄一
●山田町　1　橋本勇
●光　1　林誠一
4R2Z小計　11
●木更津　1　花澤一寿
●木更津中央　1　滝口敏
夫
●袖ケ浦　3　平良登　守

宏和　津田浩之
●木更津金鈴　10　吉田博
椿誠　若林一　鬼頭薫
鈴木好文　神子直行　岡崎
正市　増田康夫　栗原久次
奈良本孝規
5R1Z小計　15
●富津
●上総　2　鈴木喜平　連
利重信
●君津　6　戸田策二　福
田隆夫　鮎川正　村松一重
庄司小太郎　北川文秀
●君津中央
5R2Z小計　8
●館山　1　佐野勇
●鋸南
●館山中央　2　和田勝美
神作明夫
●館山北　2　堀口聡　佐
々木小次郎
●館山南　1　吉田日出夫
6R1Z小計　6
●鴨川
●房州白浜　1　小林みど
り
●房州朝夷
●房総勝浦　4　松田義久
中村文明　渡辺正敏　安
部達夫

6R2Z小計　5

●茂原　3　嶋倉和香　佐瀬晃　大和久靖武

●上総一宮　2　根本光男　松崎政治郎

●茂原長生　6　野口文夫　中西康夫　田中憲一　山田日往旺　渡辺勝美　佐藤昌巳

●白子　1　井上欣二

●長南

●長柄

●茂原中央　3　小出栄一　菊池輝夫　奈良部健治

7R1Z小計　15

●東金　4　矢野喜義　鈴木幹夫　地引聡典　山岸清一

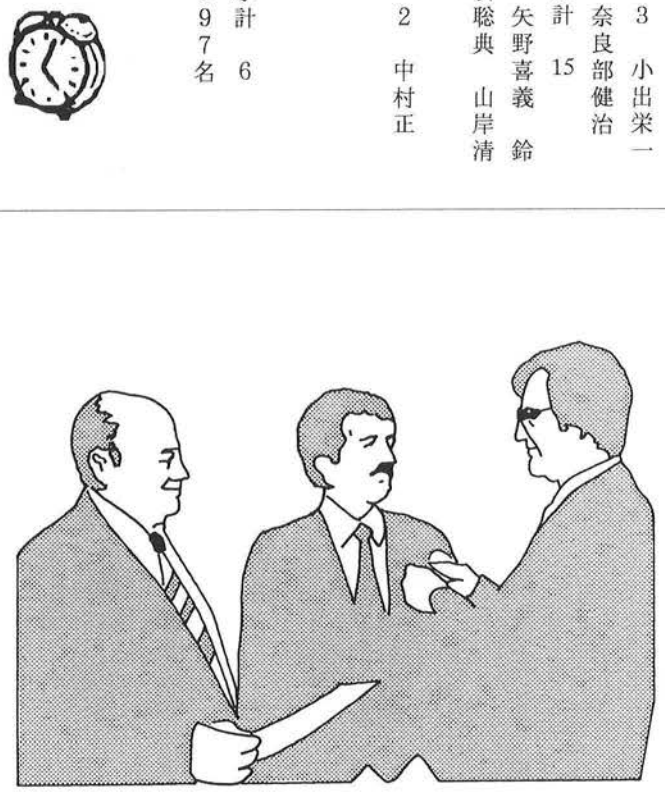
●大網白里　2　中村正　天野武人

●九十九里

●成東

7R2Z小計　6

総計　197名



■入会費

国際理事会はインドにおける11月の会議で、1993年7月1日をもって新会員の入会費をUS$20からUS$25に値上げする、という会員増強委員会の勧告を承認した。この入会費は、新会員がライオンになる特権を受けるための代金として、徴収される。

1月の
ライオンズレートは、
131円です。

新春 編集後記

キャビネット事務局の紹介

平素は３３３地区の事務所にあって、県内外をはじめ東京事務所等々の事務連絡や通達、集計などめまぐるしく働いてくださる事務員のみなさんを紹介致します。メンバーのみなさん、千葉市役所の近くです。お立ち寄りください。歓迎いたします。

ＣＯビルの６階にいます。遊びに来てください！

３３３－Ｃ地区
キャビネット事務局員

大塚文子　内藤敬子　里田武子

（３３３－Ａ、Ｂ、Ｃの３地区合同）
３３３－複合事務局員

西　雅子

樋口麻友美

私たちも同じところにいます。ぜひ寄ってください。

新年おめでとうございます
今年もどうぞよろしく

今年度の地区ニュースを担当してから、もう6か月が過ぎ、早くも折返し点にきてしまいました。あわただしくスタートして、最初の第1号から発行おくれということで、みなさまにご迷惑をおかけしましたが、第3号で追いつき、後半の第4号から予定どおりに進行する心得です。いただいた原稿は、特別の事情がないかぎり全部採用することにしたいと思いますが、写真は若干スペースの関係で割愛させていただくこともありますので、ご了解ください。盛りだくさんにして、みなさんに読んでいただくのが今期の地区ニュースの願いです。

地区ＰＲ情報委員長
尾形祇文

今月の表紙／梅

バラ科の観賞用の落葉高木。高さ約2～10メートル、早春に白や淡紅色の花が葉の出る前に咲く。また、３００以上の園芸品種がある。「梅一輪一輪程の暖かさ」（服部嵐雪）はつとに有名。

真壁静子
女子美術大学日本画高等科昭和6年卒業。日本画院会員所属。現在、上野美術館連続５回入選。明治43年10月22日生、83歳。

1992～93　No. 4　1993年1月３０日発行
ライオンズクラブ国際協会　333－Ｃ地区
The Lions in Chiba
地区ニュース
発行人●矢田常吉
編集人●地区ＰＲ情報委員会
発　行●333－Ｃ地区キャビネット事務局
〒260　千葉市中央区問屋町1番55号　シーオービル6F
TEL043-243-2528　FAX043-247-4756

この冬のボーナスプラン

身近で有利な運用プラン。
スーパーMMC

300万円からは自由金利で。
スーパー定期

普通預金の手軽さに有利さをプラス。
貯蓄預金

ちば興銀